

第4回旧本庁舎等跡地活用に関する専門家委員会

日 時：令和3年3月23日（火）

午前10時～正午（予定）

場 所：市役所本庁舎6階6－3・4会議室

次 第

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

（1）市民アンケートの結果について・・・・・・資料1

（2）「求められる機能」の選定（案）について・・・・・・資料2

4 その他

第5回専門家委員会の日程について

5 閉 会

「旧本庁舎等跡地活用に関する専門家委員会」委員

【順不同・敬称略】

役職	氏 名	所 属	出 欠
委員長	柳 年哉	公立鳥取環境大学 経営学部 教授	出
副委員長	福山 敬	鳥取大学 工学部 教授	出
委員	飯野 公央	島根大学 法文学部 准教授	出
委員	木田 悟史	公益財団法人日本財団 鳥取事務所 所長	出
委員	堤 洋樹	前橋工科大学 工学部 准教授	出 (Web)
委員	湯口 夏史	湯口一文税理士事務所 税理士	出

鳥取市旧本庁舎・第二庁舎跡地活用に 関するアンケート調査結果

1 市民アンケート調査

(1) 目的

各種団体との意見交換会やストリートミーティング、市民ワークショップ結果を参考に、跡地に必要な機能やなくてもよい機能について、幅広い層の市民の意向を定量的に把握・集約する。

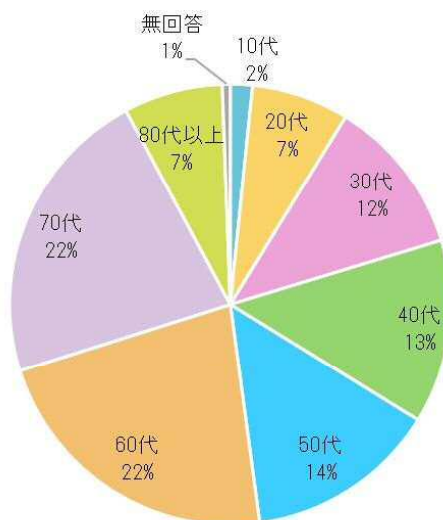
(2) 実施概要

実施時期	令和3年2月1日～19日
実施方法	郵送による配布・回収
対 象 者	18歳以上の市民2,000人
回答者数	867人（回収率43.4%）
送付資料	①送付状 ②市民アンケート調査票 ③市民アンケート付属資料 ④総合計画概要版

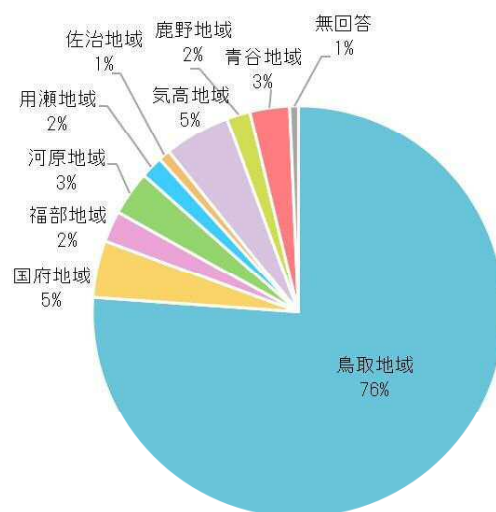
(3) 調査結果

ア 回答者の属性

- ・回答者の年齢は、50代以下と60代以上とで概ね半数ずつとなっている。
- ・居住地域別では、鳥取地域が76%を占める。



【回答者の年齢】



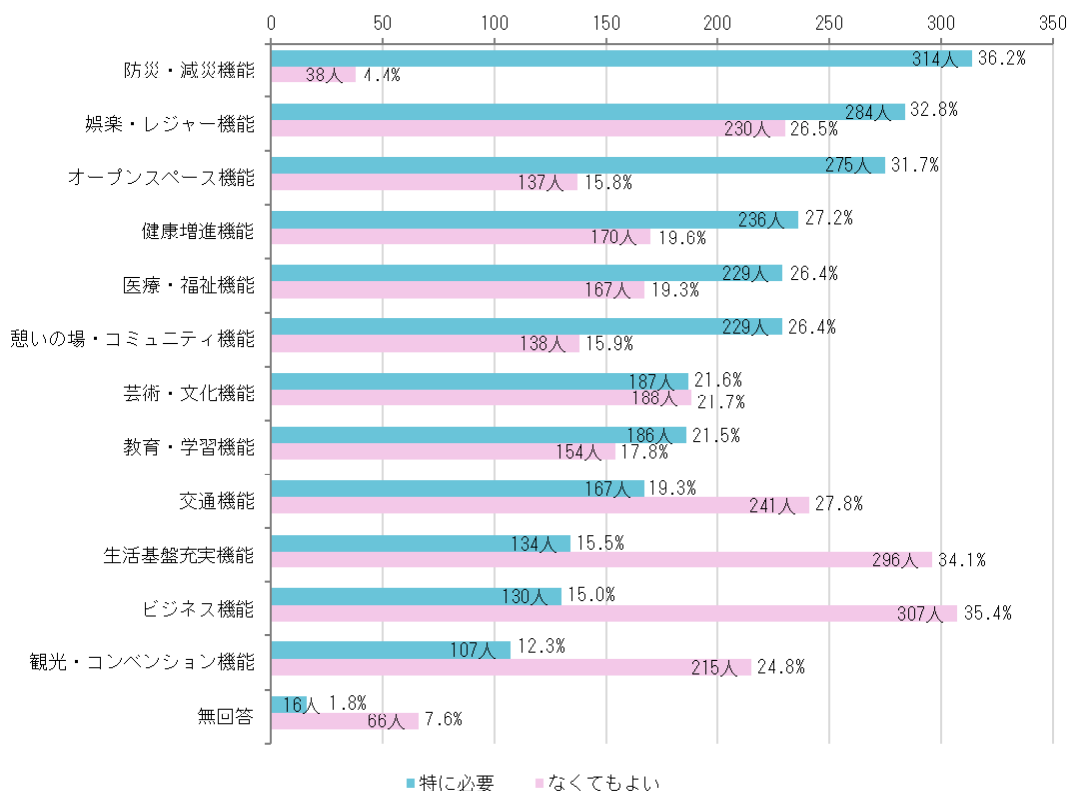
【回答者の居住地域】

イ 跡地に整備する機能

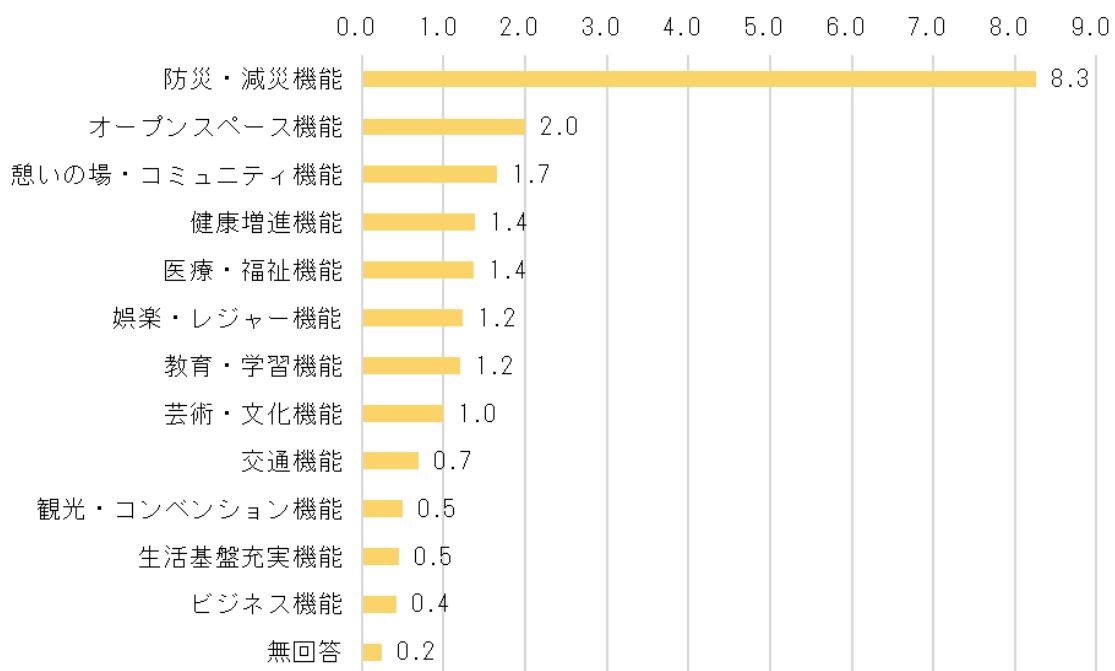
跡地に整備する機能として、「特に必要」と思うものと、「なくてもよい」をそれぞれ3まで選んでもらった。

- ・「特に必要」は、防災・減災機能（36.2%）、娯楽・レジャー機能（32.8%）、オープンスペース機能（31.7%）等の回答が多く、「なくてもよいもの」は、ビジネス機能（35.4%）、生活基盤充実機能（34.1%）、交通機能（27.8%）が多い。
- ・「特に必要」と「なくてもよい」を比較するため、「特に必要」の回答数を「なくてもよい」の回答数で除した数値を算出すると、防災・減災機能（8.3）が最も高く、オープンスペース機能（2.0）、憩いの場・コミュニティ機能（1.7）、健康増進機能（1.4）、医療・福祉機能（1.4）等が高く、ビジネス機能（0.4）、観光・コンベンション機能（0.5）、生活基盤充実機能（0.5）、交通機能（0.7）が低くなっている。
- ・娯楽・レジャー機能は、「特に必要」が多いが、「なくてもよい」も比較的多く、芸術・文化機能、教育・学習機能と同様に、「特に必要」と「なくてもよい」が比較的近い数値となっている。

※%の数値は、各項目の回答数を回答者数（867人）で除して算出（複数回答のため合計は100%を超える）



【跡地に整備する機能として、「特に必要」・「なくてもよい」の回答数・%】



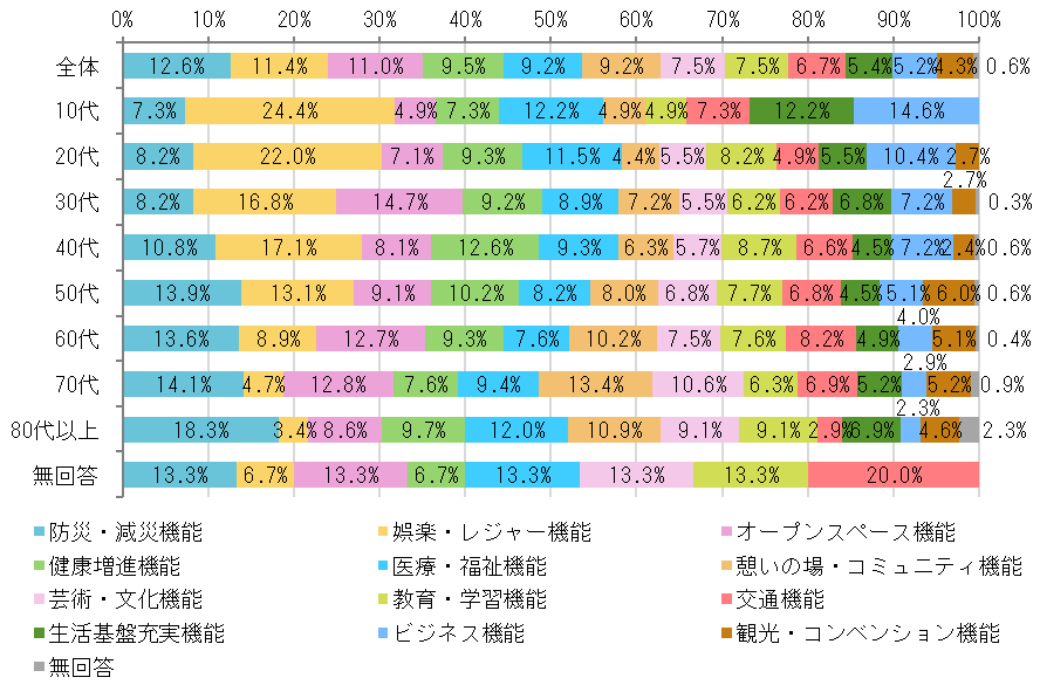
【「特に必要」の回答数を「なくてもよい」の回答数で除した指数】

(参考) アンケートに記載した機能と活用策の一例

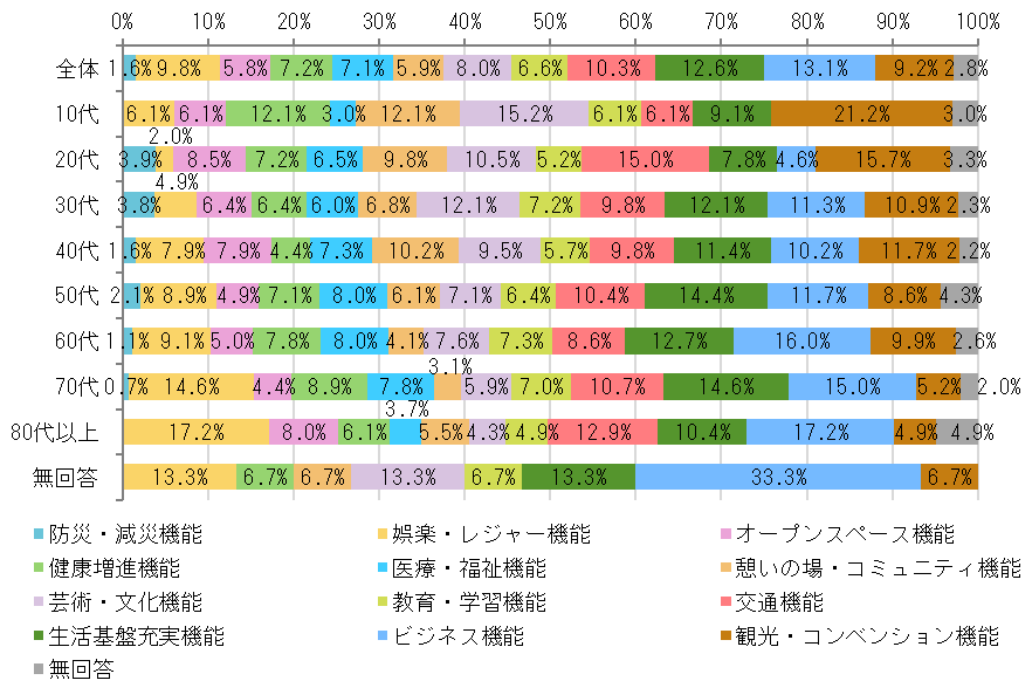
機 能	活用策の一例
① 教育・学習機能	カルチャーセンター、専門学校、図書館など
② 医療・福祉機能	病院、クリニック、保育所など
③ 健康増進機能	スポーツ施設、スケートリンクなど
④ 憩いの場・コミュニティ機能	公民館、コミュニティセンター、自由に出入りできる屋内スペースなど
⑤ ビジネス機能	オフィス、飲食店など
⑥ 観光・コンベンション機能	特産品展示販売、観光情報発信拠点など
⑦ 娯楽・レジャー機能	映画館、プラネタリウムなど
⑧ 芸術・文化機能	美術館、音楽ホール、多目的ホールなど
⑨ オープンスペース機能	公園・緑地・広場など
⑩ 生活基盤充実機能	マンション、高齢者住宅、銀行、行政窓口、スーパーなど
⑪ 交通機能	バスターミナル、駐車場など
⑫ 防災・減災機能	避難施設、防災拠点施設など

・年代別にみると、娯楽・レジャー機能、ビジネス機能は若い層ほどニーズが高く、防災・減災機能、憩いの場・コミュニティ機能等は高齢者ほどニーズが高い傾向がうかがえる。

※%の数値は、各項目の回答数を全回答数で除して算出（合計 100%になるよう算出）



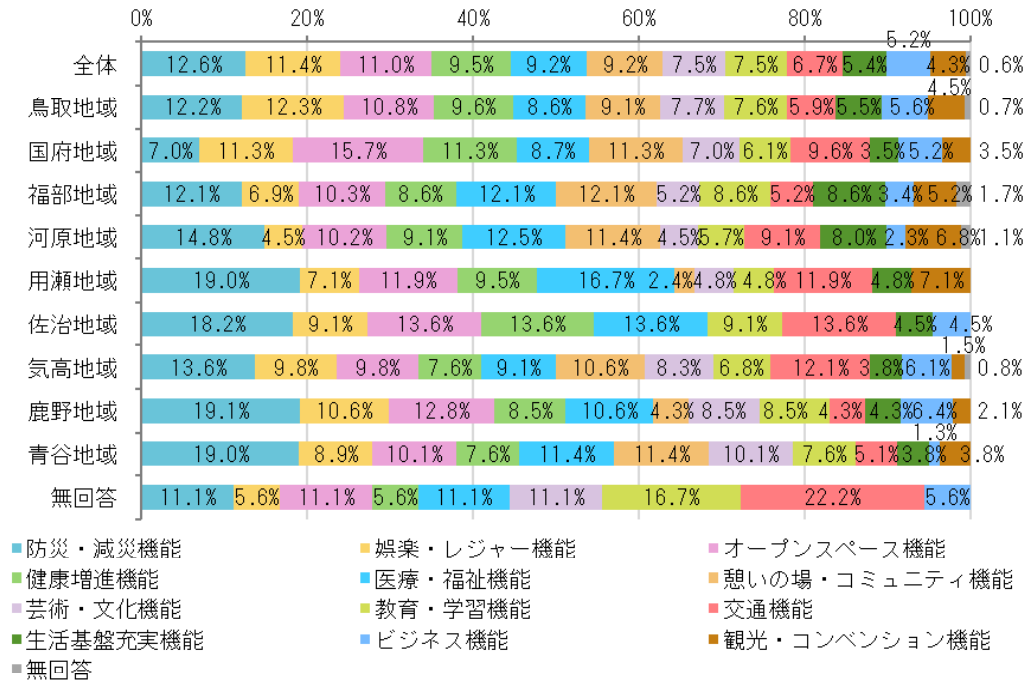
【年代別「特に必要」回答比率】



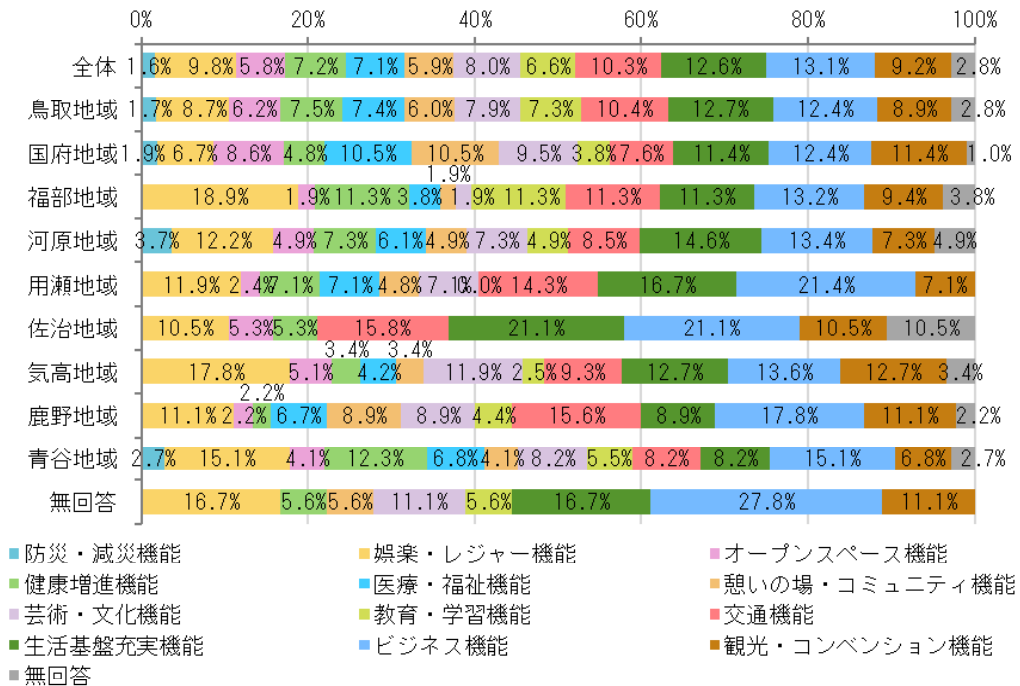
【年代別「なくてもよい」の回答比率】

・地域別にみると、大きな違いは認められないが、鳥取地域では、娯楽・レジャー機能のニーズがやや高く、医療・福祉機能や交通機能のニーズがやや低い傾向がうかがえる。

※%の数値は、各項目の回答数を全回答数で除して算出（合計 100%になるよう算出）



【地域別「特に必要」回答比率】



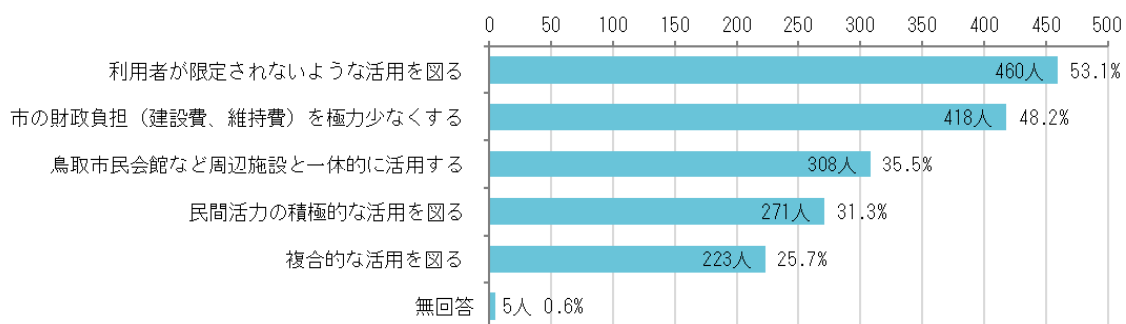
【地域別「なくてもよい」の回答比率】

ウ 跡地の活用の仕方・利用のテーマ

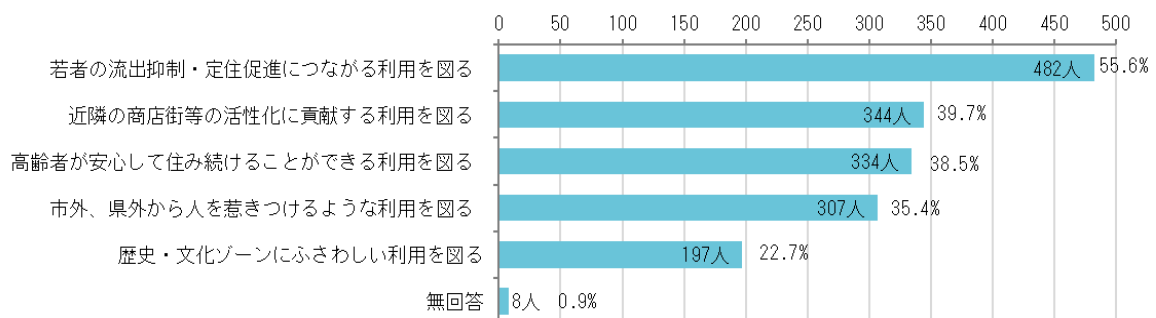
跡地の『活用の仕方』及び『利用のテーマ』について、「特に重要」と思うものをそれぞれ2つまで選んでもらった。

- ・活用の仕方では、「利用者が限定されないような活用を図る」(53.1%)、「市の財政負担(建設費、維持費)を極力少なくする」(48.2%)が多く、「複合的な活用を図る」(25.7%)が最も少ない。
- ・利用のテーマでは、「若者の流出抑制・定住促進につながる利用を図る」(55.6%)が最も多く、「歴史・文化ゾーンにふさわしい利用を図る」(22.7%)が最も少ない。

※%の数値は、各項目の回答数を回答者数(867人)で除して算出(複数回答のため合計は100%を超える)



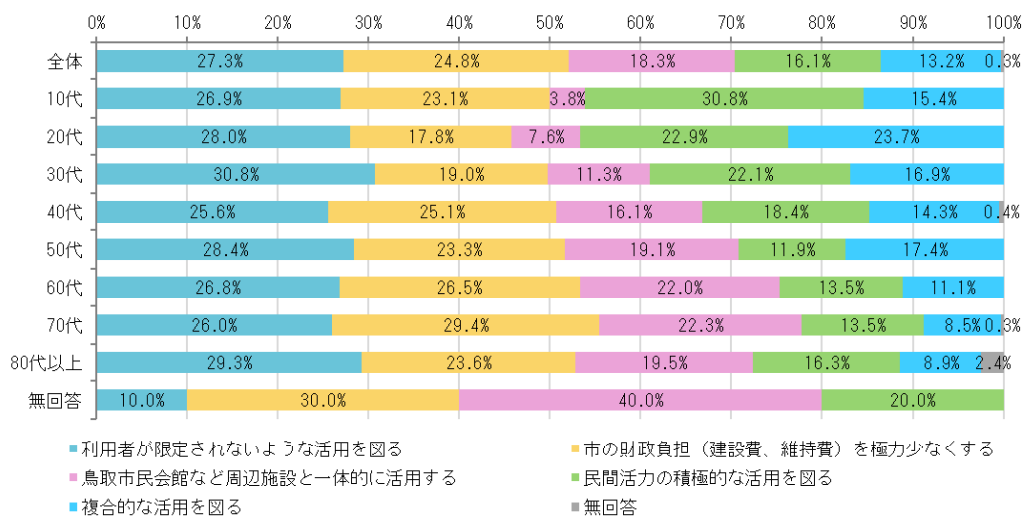
【跡地活用の仕方として「特に重要」なもの】



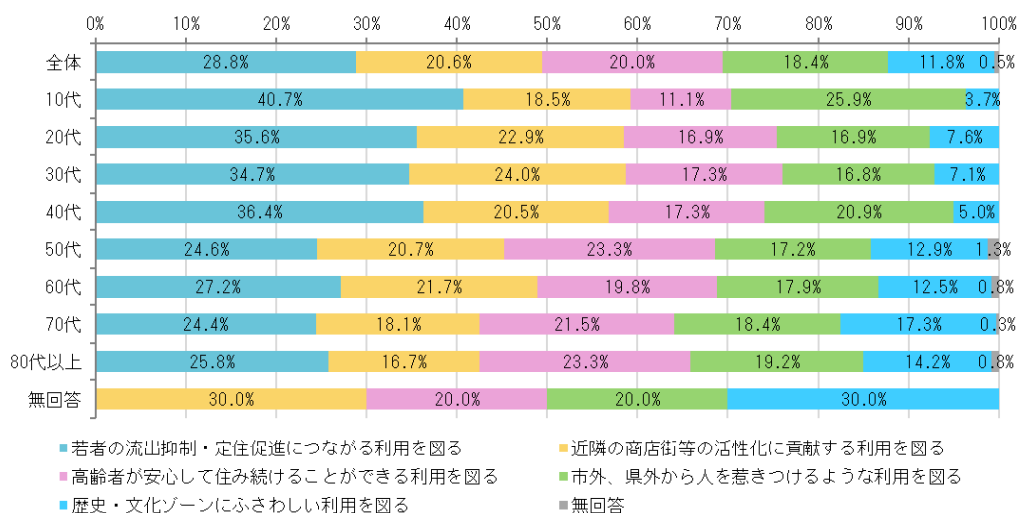
【跡地利用のテーマとして「特に重要」なもの】

- ・跡地活用の仕方について年代別にみると、「鳥取市民会館など周辺施設と一体的に活用する」は高齢者ほど重要度が高く、「民間活力の積極的な活用を図る」及び「複合的な活用を図る」は、若い層がより重要と認識している傾向がうかがえる。
- ・跡地利用のテーマについて年代別にみると、「若者の流出抑制・定住促進につながる利用を図る」は40代までで重要度が高く認識され、「高齢者が安心して住み続けることができる利用を図る」及び「歴史・文化ゾーンにふさわしい利用を図る」は50代以上で重要度が高く認識されている。

※%の数値は、各項目の回答数を全回答数で除して算出（合計100%になるよう算出）



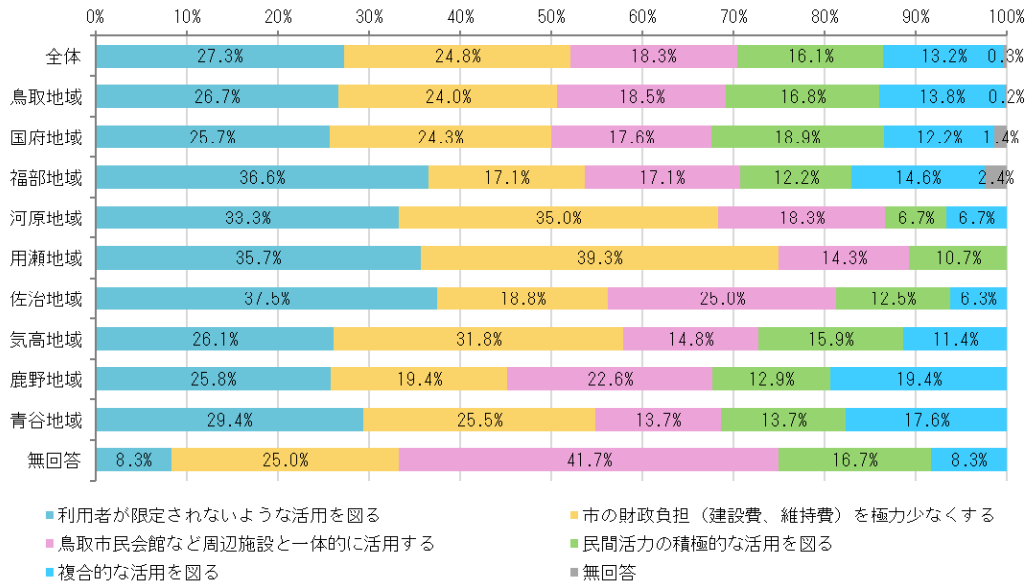
【年代別：跡地活用の仕方として「特に重要」の回答比率】



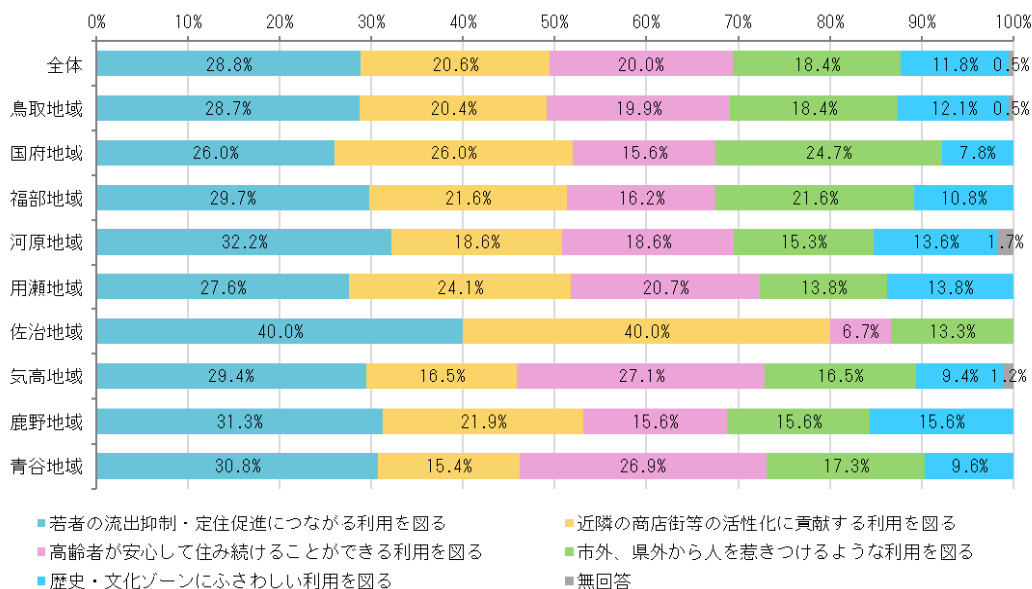
【年代別：跡地利用のテーマとして「特に重要」の回答比率】

- ・跡地活用の仕方について地域別にみると、「利用者が限定されないような活用を図る」を重要と認識している傾向がうかがえる。
- ・跡地利用のテーマについて地域別にみると、いずれの地域も「若者の流出抑制・定住促進につながる利用を図る」の重要度が最も高く認識されている。

※%の数値は、各項目の回答数を全回答数で除して算出（合計 100%になるよう算出）



【地域別：跡地活用の仕方として「特に重要」の回答比率】



【地域別：跡地利用のテーマとして「特に重要」の回答比率】

エ 自由記入

自由意見は、352 件あった。(回答者の約半数が記載)

下表は記載された項目を部類したものである。複数の趣旨（視点）について記載されたものがあるため、件数の合計は上記件数と一致しない。

記載の趣旨(視点)		件数
整備する機能	①教育・学習機能	12
	②医療・福祉機能	8
	③健康増進機能	19
	④憩いの場・コミュニティ機能	35
	⑤ビジネス機能	30
	⑥観光・コンベンション機能	17
	⑦娯楽・レジャー機能	32
	⑧芸術・文化機能	25
	⑨オープンスペース機能	40
	⑩生活基盤充実機能	25
	⑪交通機能	67
	⑫防災・減災機能	17
活用の仕方	①鳥取市民会館など周辺施設と一体的に活用する	21
	②市の財政負担（建設費、維持費）を極力少なくする	58
	③利用者が限定されないような活用を図る	46
	④民間活力の積極的な活用を図る	17
	⑤複合的な活用を図る	25
利用のテーマ	①近隣の商店街等の活性化に貢献する利用を図る	25
	②若者の流出抑制・定住促進につながる利用を図る	22
	③高齢者が安心して住み続けることができる利用を図る	13
	④市外、県外から人を惹きつけるような利用を図る	16
	⑤歴史・文化ゾーンにふさわしい利用を図る	14
その他		34

次ページ以降に、主な意見を一部要約して掲載する。

【整備する機能に関する自由意見】

①教育・学習機能
・市民が気軽に利用できるカルチャーセンターや公的な学習スペース ・様々な資格を取得できる専門学校や大学など高等教育機関を設置・誘致して ・鳥取の未来を担う子ども達のための施設を作って欲しい
②医療・福祉機能
・大型の高齢者介護施設 ・日赤病院があるのに病院・クリニックは必要ない、保育所などは検討してもいい ・市民への福祉に寄与する建物を建設・運営して欲しい
③健康増進機能
・小さい子供から、高齢者まで色々な人があつまり、スポーツや楽しい会話ができる場所。 ・さら地にして、市民の要望の多いスケートボード場にしてはどうか ・高齢者が運動しやすい場所、いこいの場、グランドゴルフ場など ・高度な（オリンピック選手が自主トレでつかう）施設造りをしてはどうか
④憩いの場・コミュニティ機能
・子どもたちが室内で遊ぶことのできる施設 ・高齢者も若者も話し合える場所（高齢者が孤独にならずに過ごせる場） ・公園などボール遊び禁止など遊ぶ所が少なくかわいそう
⑤ビジネス機能
・県外の方、市外の方、若者～高齢者の方々が安心して集まれる、活気のある所（ショッピングとグルメ） ・企業ビル、アウトレットモール専門店。若者のニーズによる専門店。 ・学生さん病院通いの方、公務員等が気楽に入れる食べ物屋、雑貨屋等
⑥観光・コンベンション機能
・観光拠点としての活用を期待 ・鳥取市歴史文化展示場 ・砂丘で終わっている観光客を「まちなか」に呼び込める観光施設
⑦娯楽・レジャー機能
・鳥取市内の映画館は小さい。シアター数の多い映画館が欲しい。 ・人口減少は若者の流出を止めなければならないので、鳥取市内にもっと娯楽や、レジャー施設が必要 ・市民が集まる総合レジャーセンター
⑧芸術・文化機能
・老朽化している市民会館も一緒に建てかえて利用しやすいホールを ・歴史博物館の様な市民も観光客も楽しめる施設 ・プロを目指せる様な音響設備が整ったホール

⑨オープンスペース機能
・維持費のかかる箱物は必要ない ・子ども達が自然とのふれあいや体験ができるスペースや、高齢者がゆっくりとすごせるような水辺のある公園 ・臨時駐車場に活用でき、フリーマーケット等の色々な行事に利用出来る広場
⑩生活基盤充実機能
・旧市役所周辺にはスーパー的な店が少なく、毎日の食事の買物に困っている。 ・居住推進ゾーンなので若者が住みたくなるような場所になると良い ・高齢者がバスや徒歩で商店街に買い物できるような高齢者住宅が良い
⑪交通機能
・鳥取の人は、建物だけ建てても車のおける場所がなかったら行かない ・活性化の為に無料駐車場が必要、高齢者にとって利用しやすい駐車場を望む ・公共交通網が減少し、高齢者も自家用車の使用が必要
⑫防災・減災機能
・防災、たとえば宿泊できる施設など、緊急時にそなえる設備としたほうがよい ・どんな施設を造るにしても、防災・避難施設としての機能を少しは持たせることが必要 ・防災拠点として利用するのがよい

【活用の仕方に関する自由意見】

①鳥取市民会館など周辺施設と一体的に活用する
・「空地」の一つとして、他の公有施設（財産）の活用と一体で検討すべき ・近隣にある病院、コンベンションセンター、学校、県庁等の機能を束ね、有効活用出来るゾーンにしたら良い ・現在の市民会館の存続を含めて、一体的な跡地利用となるよう検討を
②市の財政負担を少なくする
・新しい市役所もできているので、これ以上ムダな金をつかわないでほしい ・市に財政負担のかからない様な活用を希望する ・箱物は建設費・維持費、後々の撤去費が掛かる。人口が減り収入が少なくなる中で箱物は不要 ・売却を望む
③利用者が限定されないような活用
・誰もが使用でき、あって良かったと思える跡地活用、特に子育てに役に立つもの ・維持・管理が行き届かない施設を増やして欲しくない ・特定の団体等でなしに、市民が幅広く利用出来る施設

④民間活力の積極的な活用
・企業誘致で活性化を図る。 ・税金投入が前提では無く、民間資金を第一に計画して欲しい ・市の財政負担もかからないように民間で活用を図ってほしい。
⑤複合的な活用
・近隣の元気のある商店を集結した複合施設を創り、鳥取城跡や公園と融合させた美観地区を創って、町を活性化して欲しい ・娯楽、レジャー、芸術、文化機能を集約し、若者が集い賑わい、魅力のある”まちづくり”をして欲しい。 ・若者も高齢者も行けるような、ショッピング、飲食ができ、映画館やイベントホールも兼ね備えた複合施設

【利用のテーマに関する自由意見】

①近隣の商店街等の活性化に貢献する利用
・若桜街道商店街が活性化するような活用を望む ・もっと話題性のある方向で人が集まる催しを考えてほしい ・市役所の跡地を上手に活用することで商店街が元気に明るくなる方法を検討していただきたい
②若者の流出抑制・定住促進につながる利用
・年齢に関係なく、自由に出入りできて時間にとらわれずゆっくり勉強したり、くつろげる場 ・若者の流出抑制につながる施設を希望 ・人口の流出を防ぐために、若者が行きたくなるようなオシャレな店、空間があればいい
③高齢者が安心して住み続けることができる利用
・子供やお年寄が安全・安心であるもの ・子育て世帯、高齢者が住みやすい町になるように、バス、芸術、行政・銀行、買い物できる場所が集中しているといい ・企業があり、仕事があれば鳥取に住みたい若者も多い。
④市外、県外から人を惹きつけるような利用
・若い人のアイデアを期待※全国ニュースで取り上げられる様なものを ・次世代の子どもたちが活用できるもの（生産性のあるもの）が子育て王国鳥取県 ・歴史・文化ゾーンであることもふまえ、県内外から立ち寄ることができる魅力的スポット
⑤歴史・文化ゾーンにふさわしい利用
・歴史的、文化的な地であり、長期に亘って残るものにしてほしい ・集客だけに走って特異な建物を立てるのではなく、歴史文化ゾーンに合ったものを ・周辺の施設の状況、久松山の文化的な地域であることを勘案し、鳥取市以外の地域の方にも利用される施設に

「求められる機能」の選定（案）について

1 これまでの経緯と今後のスケジュール

令和2年10月 ～11月	跡地に求められる機能について、「①各種団体との意見交換会」「②市民ワークショップ」「③ストリートミーティング」などの手法で市民の意見を伺う。
令和2年12月	【専門家委員会】 ○ワークショップ等で聴取した意見を整理し、求められる機能を複数案選定 ○選定した複数案の選択肢を基にアンケートの内容を協議
令和3年2月 ～3月	上記①②③などで伺った意見を取りまとめ、その後、市民アンケートなどを実施して「求められる機能」に関する本市の考えをまとめる。
令和3年3月	【専門家委員会】 ○アンケート等から得られた意見から求められる機能の複数案を選定する。

現在はこの段階です



令和3年5月 ～秋ごろ	令和2年度にまとめた「求められる機能」の案をもとに、活用策についてワークショップなどの方法で市民の意見を伺う。 伺った意見を取りまとめて、市民アンケートなどを実施して活用策を絞り込む。
----------------	---



令和3年度中の 可能な限り早い時期	活用策について、本市としての一定の方向性を示す
----------------------	-------------------------

2 複数案の選定

○これまで、各種団体意見交換会やストリートミーティング、市民ワークショップなど、市民参画により多くのご意見を伺い、その意見を取りまとめ12の機能に整理した。

○このたびの市民アンケートの結果や関連計画等から総合的・客観的に判断し、本専門家委員会の議論、また議会「本庁舎跡地等活用に関する調査特別委員会」でのご意見・ご提言等も踏まえながら、最大5つの機能に絞り込む。

○なお、複数の機能を組み合わせながら活用策を検討することも想定する。

機 能	活用策の一例	めざすべきまちづくり
① 教育・学習機能	カルチャーセンター、専門学校、図書館など	未来を創る人材を育むまちづくり
② 医療・福祉機能	病院、クリニック、保育所など	未来を創る人材を育むまちづくり 健康でいきいきと暮らせるまちづくり
③ 健康増進機能	スポーツ施設、スケートリンクなど	健康でいきいきと暮らせるまちづくり
④ 憩いの場・コミュニティ機能	公民館、コミュニティセンター、自由に出入りできる屋内スペースなど	人権を尊重し、ともに築く共生のまちづくり
⑤ ビジネス機能	オフィス、飲食店など	ビジネス環境の変化に対応した生産性の高い活力あるまちづくり
⑥ 観光・コンベンション機能	特産品展示販売、観光情報発信拠点など	人が集う交流と連携のまちづくり
⑦ 娯楽・レジャー機能	映画館、プラネタリウムなど	
⑧ 芸術・文化機能	美術館、音楽ホール、多目的ホールなど	文化芸術の薫りあふれるまちづくり
⑨ オープンスペース機能	公園・緑地・広場など	快適で暮らしやすい生活環境づくり
⑩ 生活基盤充実機能	マンション、高齢者住宅、銀行、行政窓口、スーパーなど	
⑪ 交通機能	バスターミナル、駐車場など	
⑫ 防災・減災機能	避難施設、防災拠点施設など	安全・安心に暮らせるまちづくり

第4回 旧本庁舎等跡地活用に関する専門家委員会（議事概要）

- 1 日 時 令和3年3月23日（火）午前10時～11時50分
- 2 場 所 市役所本庁舎6階 6-3・4会議室
- 3 出席者 （1）委員（Web会議1名）
柳委員長、福山副委員長、飯野委員、木田委員、堤委員（Web会議）、湯口委員
（2）事務局
高橋企画推進部長、河井経営統轄、監渡邊政策企画課長、平田政策企画課課長補佐

4 内 容

●委員長挨拶

今日は、市がまとめたアンケート調査結果を使い機能を絞り込むのが目標。非常にコンパクトにまとめていただいた。一つの特徴が「必要がある」と「必要がない」の対比。今日の議論が実りあるものになると期待。自由記載も議題になると思うのでよろしくお願いします。

●委員からの主な意見

- 委員 アンケートについて質問はないが、聞きたいのは市のスタンス。皆さん、希望されていることもしくは必要ないものを正直に素直に出されている。
- 委員 市のスタンスは市の基本計画がある。それに沿って活用するのか、それにとらわれず活用するのかという話。高齢者の回収率が高かったのでその意見が大きく反映された結果。今日の目標は、機能を絞ること。自由意見を見ると、交通機能、市の財政負担を極力少なくして欲しい、利用者が限定されないことがトップ3である。それに対して防災機能となると利用できる人が限定され矛盾が出る。その辺の意見を皆さんからいただきたい。
- 委員 アンケートに関しては、よくわかる形でまとめてあった。
- 委員 アンケートについて特に意見はない。アンケート結果を見て面白い、正直だと思った。この中からセレクトするのは難しいので、段階的に、「これはない」というものを外すなど、絞らないとこれから計画段階までイメージがつかないと思っている。
- 委員 アンケートの結果は分かった。防災・減災機能が、1番必要性が高いとなっているが、考えた方がいいのが真のニーズ、ここに求めている価値感である。そこを掘り下げていかないと、防災・減災機能だから避難所というのは短絡的。どういう価値観を大事にすればいいかを吟味していく必要がある。
- 委員 今回のアンケートは大まかな方向性・機能を聞いている。重要なことは、ここにあがっている機能が、他の既存の施設を使って満たすことができるのかできないのか。また、市の総合計画、長期計画、公共施設の管理計画等との整合性を図りながら、今ある施設で満たせるものかどうか、そして30～40年後にも満たせるものかどうかといった、いくつかの軸を持ったうえで、その機能が鳥取市の中で必要かどうかという作業をした上でなければ簡単に評価できない。今回いろんな意見が出て、逆にこれを一つ一つ潰していけるかどうかという作業ができるとすごい。
- 委員 いろんな意見が出ているが集約すると、「地域の活性化」を望む声がある。具体的にはアミューズメント、観光レジャー。「防災」が重要性という声も多い。「地域の活性化」と「防災」の2つの軸を考えたとき、どれも当てはまる。実現可能性がある機能に絞らなければ、絵にかいたもちになってしまう。市の財政は厳しく歳入が10年後10%減ってしまう。例えば民間と一緒に考える。もしくは、市独自でやるのであれば周辺地域も含める。「地域の活性化」と「防災」の2つのベクトル以外、何かあるか。

- 委員 様々な世代、人が気軽に集まる、憩いの場、会話を楽しめる、ゆっくり勉強する、くつろげるとある。
- 委員 憩いの場も「地域活性化」に結びつく。
- 委員 地域づくりとか地域活性化とも重複するが、若者が県外から帰ってくる、若者定住など若者にフォーカスした意見がある。企業ITなど若い人に注目した意見があった。
- 委員 大きな括りで分けると攻めと守り。守りでは防災・減災、医療福祉。攻めでは地域活性化、にぎわいづくり、娯楽・レジャー。
- 委員 娯楽・レジャーは、民間と行政が協働して今ある施設を活用していく方がいいのではないかと。若者の意見としては、定住、地域活性化の視点。
- 委員 今、12の機能がある。この中で単独の機能として「必要ない」という意見があったのが、交通機能。自由意見で駐車場とあるが、何を作るにしても駐車場は必要。交通機能自体を1つの機能ではなく、付加機能とすると交通機能は削除される。駐車場は副次的には必要。交通機能は削除してもいい。そう考えたときに、学習機能と言ってもすべて削除ではなく、この部分だけは残せばいいという見方もできる。
- 委員 絞って交通整理していただくといい。既存の施設を活用するもの、必要なもの、過去にあったものがなくなったがやっぱり需要があるもの等、整理すればわかりやすい。
- 委員 具体的な話を進めたい。教育・学習機能の指数は1.2で「必要と思っている人が多い」というふうに絞っていききたい。
- 委員 絞り込むことは重要。市のスタンスに関わるが、例えば教育・学習機能のカルチャーセンター・専門学校は市が施設をつくらない前提で、民間に問いかける手法はある。民間がやる、カルチャーセンターだけではなく他の機能とプラスでいいという整理もある。民間でやるのかそれを許すのかと考えれば、医療・福祉、健康増進機能もそうでありかなり整理される。今回のアンケートだと防災は残すが、防災はどの施設でも必ずつけるものであり、他の施設で対応できる。レジャーの中の映画館・プラネタリウムも民間にお願いするなど、施設を作らない方法もある。まず、防災がでた。私なら防災広場、キャンプ場を提案する。訓練としてのレジャー施設みたいな位置付けで整理するとグランピングも検討できる。他の施設でまかなえる、民間に作ってもらうということで整理してもいいと思う。
- 委員 防災は機能として必要。駐車場は副次的に必要。民間活用した時、DBOにすると市の負担が増える、PFIにすると民間は採算を考える。まとめると防災は外せない、施設・レジャーは民間の知恵を活用したほうがいい。機能としては娯楽・レジャー施設機能、防災・減災機能は残る。
- 委員 大枠ではそうである。12の機能はすべて必要。駐車場について車が必要なのは大前提だが、中心地の立派なスペースにあまりにももったいない。そこを上手く使って歩いてもらうべき。
- 委員 駐車場は少ないというコメントがあった。オープンスペース機能の指数は2.0。オープンスペース機能に防災、観光レジャーを付けたらどうなるか。ドライブインシアターもある。アンケート調査を踏まえどう機能を絞り込んでいくか。
- 委員 防災・減災機能に関しては、ファーストリアクションとして私でもいりますと答える。どんなものを作るにしても、今の時代、防災・減災機能は、これから生活に絶対必要だという意識を皆さんが根底に持っているのでもそこにリアクションしたと理解している。どんな機能を持たせても、鳥取市が考えている防災減災に関する計画の中で、この土地で補完できるものがあればぜひやって欲しいという要求が出てきていると思う。建物を作らなければ減災防災は限られると思うが、鳥取市の計画の中でできることがあるのではないかと問いかけてられている気がする。この新庁舎も含めてその中で、さらに必要な機能がないかと捉えればいい。全体の機能のことだが、「なくてもいい」は、「あったら困る」という意味ではない。機能を絞り込むというよりは、重要度の順番。来年度に向けて、活用策の話をされるが、具体的な活動策の中に、優先順

位の低いものも復活できるような形でもいいのかなと思う。アンケートで得られたマストの機能があるが、マストではない機能を必ずしも切り捨てる必要があるのかなと思う。

○委員 ビジネス機能は 0.4 だが、若者流出抑制、活性化を考えるとビジネス機能が必要ないという意味ではなく中身をどう考えるかが必要。1 から 12 の機能の中で周辺にあるかないかという話もある。中身を見て検討しないといけない機能がある。防災減災でも施設を作るのか、公園にするのかという意見、オープンスペースを作るというコメントもある。

○委員 意見が多すぎて混乱している。皆さんの話を聞いていると屋根でいいと思えてきた。何年か後に別の選択もできる。屋根だけでは建物がないと機能しないと整理すると考えが崩れてきた。アンケートは、テレビ・インターネット等で何かを見て回答していると思っている。全国で防災を兼ねたいろんな建物をイメージして進めていく方法もある。

○委員 北海道東川町は、まさに避難所として設置されている。改修し日本語学校として活用している。避難所として交付金が財政措置される。1 年、生活しお金も落とし税収的にも潤う。

○委員 機能として、「鳥取を元気にしましょう」と「防災」。「防災」は検討しないといけない。鳥取を元気にして、若者が流出しないよう、活性化したいというのが意見としては 1 番多い。そう考えたときにビジネス機能も中身を考えたら必要だという人も多いと思う。観光、防災以外に残してもいいと思う、検討すべきだと思う機能はあるか。

○委員 ビジネス機能もあっていいと思う。ただ問題は公共施設として整備すべきかということ。活性化は最終的に民間がしないと話にならない。行政で建物を建て全部準備して、しかもそこであまりいかなくて、負担が増えれば元も子もない。民間にできるだけ積極的に入ってもらい展開するのがいい。土地代を安くして建物、民間ホールだけという話是可以する。ショッピングモール等は作る必要はない。行政がやるのか民間がやるのか議論ができないと何とも言い難い。正直、民間に任せた方がいい。公共施設を建設するのであれば、喫緊の課題を解決するに必要だという裏付けがないと納得できない。民間にお任せする、民間ができないのであればやらないというスタンスを持っておけば民間に提案してもらうとか、プロポーザル、サウンディングという話につながる。機能を絞るのは、コアな機能を絞るということ。実践で追加や複合化はできる。コアが決まらないとサブが決まらないと思う。今、政策企画課が議論しているが、資産活用推進課と連携し市としてのスタンスがあれば議論しやすい。必要な機能はしっかり準備して、プラスアルファの機能について制限をかけない整理がいい。

○委員 実行可能性のあるものでなければいけないということ。そのためには民間の活力を使った方がいいと。そうすると民間が参入してもらえ機能として、公民館コミュニティセンター、屋内スペースは民間はやらない。これをやるのであれば市。別の見方をすれば民間が参入するものと住民のニーズがマッチする機能で絞り込めるかなという気もする。

○委員 今日の議題はこのアンケート結果から最大五つの機能に絞り込むことなのですが、今回のアンケートで、市民が鳥取市の行政サービスにどういったものが欠けているか、どういったことを改善して欲しいかという生の声がダイレクトに伝わってきたと思う。そこで、今度は、市としての意見、例えば経費はできるだけかけないといった視点から見たときに、市民の意見とどこはマッチするがどこはマッチしないとか、マッチしないが民間と上手くやることによって機能分担ができる、あるいは民間に任せるといったやり方もあるという整理をする必要がある。そのうえで将来のためには必要であり、民間ではできないので行政が責任を持ってやる、あるいは具体的な中身を絞り込んでいくというのが、もっとも合意形成を図りながらすすめる方法と思う。

○委員 財政等、市として制約条項はあるか。

■事務局 現在の考え方を話す。今年度は機能のある程度絞り込ませていただく。来年度、その機能で具体的な活用策を市民の方に意見を伺うスケジュールである。その中で、これは民間、これは行

政でできることと整理する。具体的に1番上の例だとカルチャーセンター・専門学校は民間という話が強く出てくるようであれば民間の方に例えば提案を求めてくるとか、娯楽レジャーは民間の方から提案を求めるという手法をとっていくことになると思う。逆に図書館は行政でやっていけることなので、財政等も考慮し行政が考える。次の具体的な活用策を考える中で、一緒に条件、市の考えを出しながら進めたい。そのためにまずある程度機能を絞らないと間口が広がって議論が広がってしまう。ある程度、機能を絞っていただいた上で、必要なもの、必要な手法、民間、行政、財政等も話しながら具体的な活用策を絞り込んでいきたいと思っている。

○委員 民間の資金を活用するためには民間に提案してもらえないといけない。教育学習であればカルチャーセンターか専門学校かに絞らないと前に進まない。交通機能はそれ自体の機能はいらないとあった。活用策を絞り込んだ方が前に進む。

○委員 先ほど部長の説明で「絞る」と言われたが、まさにそうだと思う。アンケートの順番を専門家委員会が変えるわけにはいかないの、これを解釈して、その機能が確かに重要と再確認して、わかりやすい形で、専門家委員として返答する。絞ることは切ることではないので、絞る意味で重みづけをして、「この機能は極力実現したい」と。生活基盤充実機能は評価が低い、行政窓口は小さな窓口も多分作るだけで実現できれば、ビーバイシーは非常にある。付加的につくれるサービスは当然ある。コアな機能と付加的な機能があってもいい。実現可能性のことをイメージしてしまう。立ち返って、今は、活用策はおいといて機能を議論しなければいけない。機能をまず考えて、それを実現するために民間活用等は次のステップまでおいときましょうというイメージでやっていかないといけない。アンケートについて指数が1.0以上は残す。芸術・文化は指数が1.0だがここは歴史文化ゾーンなので残しておいて欲しい。それ以下は副次的な方に入る。

○委員 前に進めるために、機能全体をいらないとするのではなく、実現可能性を考えたときに、活用策を優先順位でピックアップして進めたい。

○委員 市のことをあまり知らないの、市としてどう考えているのかを聞いた方が整理しやすい。

○委員 市のスタンスを聞く。

■事務局 先ほど来、「防災」と「活性化」という話がある。市としてはやはり「地域の活性化」が1番である。この地域の計画として中心市街地活性化基本計画がある。その計画が元にはなるが歴史文化ゾーンになっている。地域としては歴史文化ゾーンというのが、市の考えである。ただその中には居住の観点も入っている。そうしたところではあるが、アンケートの結果で歴史文化ゾーンが1番低いと出ている。市の考えでは歴史文化ゾーンであるが、そこで判断が難しくなっているのかなと今は思っているところ。それでこうした12の機能でどれが要らないとかは、当然、市は持っておらず、みんな必要だろうと、それを聞きたくてアンケートをしている。一旦、機能に優先度をつけていただくことがいいのかと思っている。絞り込むと同じではあるが優先度をつけていただければと思っている。

○委員 例えば、①の教育・学習機能。図書館は、こういう状況だから問題ないとか足りないとかそういう話が聞けると絞り込める。市として図書館は充実している等の話が聞ければと思う。

○委員 住民の方が知らなくて希望されているケース問題があるかも知れない。病院は横に日赤病院があるので医療・福祉機能はどうかと。そういう周辺のデータをいただければ、少し絞り込んでいけると思う。

■事務局 以前、鳥取市の強み弱みを示した。例えば、先ほど図書館の意見があった。他都市との比較対照指標で図書館は、人口当たりの蔵書数3.6冊で、比較した都市の中では6位で、ほぼ真ん中あたりに位置する。その他、スポーツ施設数は79ヶ所で1位であり、かなり充実していると言える。観光客数も2位、人口密度も4位、高齢者保健福祉関連施設も4位で、このあたりが鳥

取市の場合には強いと考えている。一方で、例えば、卸売業年間商品販売額は 15 位、商業地地価は 15 位、医師の数は 12 位で、このあたりは弱いといえる。

○委員 鳥取市の特徴は、観光文化スポーツ、福祉機能が充実しているが商業の観点が弱い。アンケートに的確に表れているのは若者流出、商業地、活性化したいというニーズがけっこう多い。機能の中の活用策の一例についてデータとしてももらっていただければ具体化できると思う。

■事務局 これも以前、話をしたが、市民の皆様との意見交換でいただいた意見の中で、様々な機能と一緒に活用策の一例を出させていただいている。代表的な活用策なので一例になるが、ここにこだわるものなのかどうなのかというのが少しある。例えば、教育・学習機能の一例でカルチャーセンター、専門学校、図書館等としている。高校生や大学生が自主学習したい、勉強したい、そういうときに集まるセンターが欲しいという意見があった。また、生涯学習の受け皿となる施設というご意見があったものをカルチャーセンターと表現している。例えば、環境大学や鳥取大学が講義をする施設という意見あった。それをまとめて、教育・学習機能としている。市民の方が集まって勉強できるところ、ある意味コミュニティの施設としても複合的にはできるのではないかと、そういったことも考えられる。この機能を 1 個 1 個することもできるが、まとめる考え方もできる。以前の膨大な調査資料の一つで、市の説明が全部できてないところもあるが、そういうことも含めて検討いただければと思っている。

○委員 今のはすごく重要な話だが実は絞りにくい。例えば教育・学習機能は必要。憩いの場・コミュニティ機能と統合できる可能性がある。コミュニティ機能は他の機能とも統合できる。ある意味、どの機能に対してもメインではなくサブでくっつけることができる。先ほど強み・弱みの話があった。強みを伸ばすのか弱みをボトムアップするのかわ変わる。その整理をこの会ではなく市でしていただかないとなかなか進まない。アンケートで防災・減災機能はメインにする。メインにすると言っても防災・減災機能は不可欠なもの。メインは 1 つでいいと思っている。逆に言うとそれにどんどん付け加えていけばいいと思っている。最低限必要がない交通機能はいらないということであればいい。病院は隣にあるので減らすということもある。市全体のバランス、地域のバランス、周辺地の関係とかある。この地域には必要だがこの地域には必要ないものもある。市のスタンス、強みを伸ばすのか弱みをボトムアップするのかがある。市民に一つ示すのか、三つ示して議論するのか今後はどうするのか。

○委員 機能を絞り込むのがマストか。例えば、財政に負担かからない教育施設を作り、あとは公園にして動向を見ながら価値を考える方法もある。絶対にこれを作るという考え方もあるが今の段階では、この機能が必要ですよというだけ。民間にするのか市がやるのかも。残りはオープンスペースにして、必要に応じてイベントを開設できるような、そういう活性化を図る方法もあると思う。遊休土地にするのはいけないので縛り込んでやるのか。利用できるオープンスペース、公園にする。何年かけて動向を見ながら活用するか。二者択一ではないがその他活用方法があれば話していただきたい。

○委員 軸があれば整理して進めやすい。すごい難しいがすごい重要なところ。

○委員 冒頭で申し上げたアンケート調査の中から見える価値感を考えていた。当初、市が示した目指すべきまちづくりが、市としてのビジョン、姿と状態だと思う。市の状態と新しいものがもしできたとしたらこういう状態を望んでいるというものが多分あるんだと思う。重なっているところ、重なっていないところを整理した上で機能整理をした方がいいのではないかと。跡地を活用して何か新しいものを建てるかそれとも何もしないのか、その変化を期待するのかを考えていかないと選択する判断が難しい。

○委員 スケジュールの問題もあるが、市は長期計画の中で将来の方向性を出している。それはデータやコンテンツに基づいたものである。しかし、今回のアンケート結果では、住民はそうではないものも望んでおり我々としてどうするかが問われている。重要なのは、違いが出たときにど

う対応するかである。住民の意見と市の考えとの違いはどこに原因があるのか、あるいは住民の皆さんはこういう要望を出しているが市の将来を考えたときにはこういう根拠から市としてはこういう方がいいと思うということをつき合わせる必要があると思う。住民の皆さんは、持っている情報が非常に限られている。限られた情報の中から判断しているので、広い情報の中からもう 1 回考えてみましょうと往復運動をした方がいいと思っている。その結果、市が目指す方向に将来があるなら、むしろ住民のアンケートと違う形の選択があってもいいと思っている。今日の会議で無理に絞り込みの結論を出すのはどうかと思っている。専門家委員で集まっているわけだから、住民の意見、行政の意見をトータルで比較検討した時に、専門家として、こういう方向に行った方が望ましいということを求められているのが我々。そのためには、今これだけでは情報が不足している。

○委員 次のステップを見たとき、活用策について、ワークショップ、アンケートの想定がある。活用策は、カルチャーセンター、図書館、プラネタリウムは誰が言うのか、我々か、市長か。この委員会のスタンスだが、出てきたものに対して、都市計画という専門的な立場からこれはいらないという話ではできるが、どこから出てきて、それに対して我々が意見を言うことになるのかわからない。これからのプロセスも含めて。今どの活用策がいいですかって聞かれているような気がする。それに対していろんな情報がないので答えるのが難しい。アンケート結果だけから判断するという状況になっている。その辺、補足していただければと思う。

■事務局 活用策は、どういった形で出てくるかということだが、市が考えているのが来年度、住民の方のワークショップなどで意見をいただいた上で、具体的な活用策を提示させていただきたいということである。そのために、今年度の機能の中では 12 も出ているので、いきなり来年度 12 の機能で活用策は何にしましょうかと伺っても、なかなか絞り込みができないということがあるだろうと思う。12 の機能の中でいくつか絞り込んだ上で、その機能を実現する、満たすためにどういう活用策がいいのかということを、意見交換をしながら絞り込んで、それで、活用策の案をお示しするというをこちらのスケジュールでは考えているところ。

○委員 先ほどで飯野先生が非常に大事なことを言われた。このアンケート結果をもう一度、住民の方が十分な情報を持っていないので、アンケート結果を住民にフィードバックすればという話もあったと思う。

○委員 資産活用推進課が、機能・設置等の管理をされているので一度しっかり話し合っ、市としてこういうのが必要ではない、もしくはこういうものが望ましいということを整理して、住民と違うところがなぜ違うかも整理して、市民に返すことも重要だし、専門家委員会で共有して議論することも重要。正解がない中で、選定するのは根拠・データを抑えるしかない。あとは好き嫌いになってしまう。そういった整理を 1 個 1 個することだと思っているし、この会の中で必要ないという議論もできる。情報が足りないのをそれをやり取りしながら全体の方向を決めていく話だと思う。無理に使わなくてもいい。例えば、何もないければ公園、民が集える場所、防災施設にする。もし、何か施設を作るのであれば、財政的に厳しい鳥取市ではなく、民間が作って許可するでもいいし、市として必要なものは作るという話。市として作る必要があるけど表に出さないのであれば、必要か必要ではないかを部外者が決めるのは難しい。

○委員 今日 5 つに絞るのがなかなか難しいという意見が出ている。施設がたくさんあり鳥取の強みを住民に知ってもらったらい。直感的に思うのは誰が見ても鳥取市が活性化してほしい。人口も減っている実情を考えたとき、そこに作るべきものが見えてくる。個人的にはビジネス等、若者が集う価値のあるところにしたいのが総論。ここからなかなか前へ進まなくなった。もう一度住民の方に十分な情報を提供して絞り込むのはどうか。スピード感がないか。市としてそういうスケジュールでも大丈夫か。1:38:25

■事務局 昨年 5 月、初めてこの会議を開いたとき、令和 3 年度にもう一度、市民の皆様に意見を伺う場

面を作るという想定をしている。ただ、その場合の想定は、ある程度、機能を絞り込んだ中で、その機能を十分に活用できる方法、活性化策を作るための次の段階の話を考えているところ。来年度中には一定の方向性を示すので、何とか次のステップの議論を市民の皆さんとさせていただきたいのが正直なところ。何とも申し上げにくいところもあるが、具体的活性化策について議論ができるよう、次は、市民の皆様の話し合いたいと思っているところ。

○委員 市のスタンスを明確にして欲しいという話があった。市と調整をしてアンケート結果を踏まえ複合的な活用策を考える。市と委員長、副委員長で絞り込んでもう一度、委員の方の意見を聞くというのはどうか。今日5つに絞り込むのは、多分難しい。市のスタンスを考えて、協同・ミーティングを少人数でやり絞り込んで委員の方の意見を聞いてみる。委員の方に資料を示し聞いてみるということでない市スケジュール感と合わないと思う。

○委員 委員長に任せる。特に必要をなくともいいで除した指数が唯一の分析であり、これをうまく使えばいいと思う。防災については意見が多いので採用する。次のオープンスペースも入れる。健康増進、医療は、例えば隣に病院があるからなくしてと、整理していった方が早い。ありとあらゆる機能があった方がいいのは間違いない。例えばオープンスペースが隣にあるのであればいらないという整理をすればいいと思っている。

○委員 少人数で絞り込んで委員の意見を聞くということでどうか。

○委員 よろしく願います。

○委員 それでよい。

○委員 私にできることがあれば、それでよい。

○委員 市として、ここで決めてほしいということでもいいのか。

■事務局 今の委員長提案の通りにする。

○委員 もう一度、少人数で絞り込んだあと、委員みなさまの意見を聞いて方向づけをしたいということでもよろしいか。

4 その他

■事務局 第5回専門家委員会日程については、この後の委員長協議を踏まえ調整をしたい。

○委員 他に意見があれば受ける。

○委員 今回は機能で整理するというので、建物で整理していないのがとてもいい。施設は整備できなくても機能は整備できる。逆に整理しづらくなっている。委員長に任せる。

○委員 今回はセレクト、絞れなかったが、アンケート自体はすごい貴重な意見が多い。アンケートについて、跡地活用専門家委員とは離れるが意見としては宝の山だと思う。この跡地活用待たなくても、もしかしたら今すぐできることもある。高齢者のフリーマーケット。学生の自習室は会議室を開放。私もカフェでノマドワークをやるが、コンセントがあればパソコンを持って行き仕事ができる。これを待たなくてもいくらでもできる意見がいっぱいあるので、すぐできそうだなと思うのがあればやってみて欲しいと思った。

○委員 実現可能性できるものを優先的にという話もあるので、それも十分踏まえて絞り込む。

○委員 住民ニーズとしていろんな情報が集まっているので、その中で、やはり新しい投資をしないと実現できないもの既存の施設でできるものを整理する。

■事務局 長時間の意見交換ありがとうございました。資料2は議論と合致するので見ておいてほしい。翌年度もよろしく願います。

自由記述の内容

別冊

整備する機能	①教育・学習機能	12
	②医療・福祉機能	8
	③健康増進機能	19
	④憩いの場・コミュニティ機能	35
	⑤ビジネス機能	30
	⑥観光・コンベンション機能	17
	⑦娯楽・レジャー機能	32
	⑧芸術・文化機能	25
	⑨オープンスペース機能	40
	⑩生活基盤充実機能	25
	⑪交通機能	67
	⑫防災・減災機能	17
活用の仕方	①鳥取市民会館など周辺施設と一体的に活用する	21
	②市の財政負担（建設費、維持費）を極力少なくする	58
	③利用者が限定されないような活用を図る	46
	④民間活力の積極的な活用を図る	17
	⑤複合的な活用を図る	25
利用のテーマ	①近隣の商店街等の活性化に貢献する利用を図る	25
	②若者の流出抑制・定住促進につながる利用を図る	22
	③高齢者が安心して住み続けることができる利用を図る	13
	④市外、県外から人を惹きつけるような利用を図る	16
	⑤歴史・文化ゾーンにふさわしい利用を図る	14
その他		34

※項目毎分類

※一つの回答の中に複数の項目に関する記載があった場合、それぞれに計上している。

①教育・学習機能
跡地の利用は、教育・学びの場としての機能を持ってもらいたいです。欲を言えば“水戸市立西部図書館”や“十日町情報館”のような場所が欲しいです。 高校生や中学生の頃、勉強する場所がなくてさまよっていました。 図書館の学習スペースもよくうまっていたため、余裕をもった公的な学習スペースがあったらいいなと思います。どの世代も学ぶことは活力につながると思います。
カルチャーセンター等の閉鎖がつづいている。 高齢者等の音楽・芸術等のカルチャー勉強の場及び個展等の発表の施設が欲しい。
・サークル活動の場所 ・NHK文化センターがなくなり、それに代わるカルチャー教室としての活用の場所 ・子育て中の親子が集う場所
様々な資格を取得できる専門学校を希望します。鳥取県内で取得できる資格が限られており、県外への若者の流出をつくっていると思う。県内（鳥取市）で選択肢の幅が広がればとても嬉しい。
・市街地消費人口増加、活性化のため、大学など高等教育機関を設置・誘致してはどうか。特に地域発のIT人材育成（都市部と同等のレベルの教育を低い生活コストで受けることが出来るのでは？）（英語使用）のための場を作るのはどうか。 ・周辺景観整備として久松山頂上のライトアップを提案します。鳥取は夜間のランドマークがないような気がします。
他県では子ども（小学生以上～）が楽しく学べて興味のもてる施設がたくさんあります。（科学館など）鳥取でも各地で催されている（おもしろ科学やプログラミングなど）のですが、日程が限られていたり、遠かったりで行けません。 鳥取の未来を担う子ども達のための施設を作って欲しいと思っています。
市民が気軽に利用できるカルチャーセンター、スポーツ(ヨガ、健康促進) 個人が習い事を教える(利用者)場所を提供してほしい 数時間で安い料金で提供できるように。
②医療・福祉機能
大型の高齢者介護施設
最後は解体するので少し手を入れて高齢者用利用（デースービス等）
高齢化に拍車が増して来るのは必至。福祉施設建設が最良策と考えます。また、関連して、看護師（准看士・医学療法師等を含む）養成学校増設も良策と思います。要は市民への福祉に寄与する建物を建設・運営して欲しいです。
・魅力的な高級有料老人ホーム（屋上入浴設備など色々な運動カルチャースクール）を設立→市外・県外からの居住者の増加（税収増加）→施設ごとに就職先が増加（若者の定住） ・併せて「トータスホーム特養老人ホーム」のように、施設内通貨のような制度を利用して施設内外の高齢者に利用してもらう。
問2の中で②医療・福祉機能という一例がありましたが、日赤病院があるのに病院・クリニックは必要ないと思います。 保育所などは検討されてもいいと思います。
③健康増進機能
さら地にして、市民の要望の多いスケートボード場にしてはどうか。防災機能も備えたものを作ってはどうか（公園、駐車場、避難できる建築物）
病院は日赤等あるので、違うものが良いのでは。 健康増進・コミュニティなど、市役所に不可欠なキノウを果たして欲しい。
新市民体育館にしてほしかった。
高齢者が運動しやすい場所

高齢者の健康増進・筋力アップを計る為の機械（道具）の設置。
スポーツジム老若つかえる体育館がほしい（市民体育館は遠い）
地産のものが売ってあるスーパー
温泉・サウナなどで県外からの観光をふやす
建設費、維持費が比較的少額で済むグラウンドゴルフ場が良いと思います。対象年齢が広範囲である事も。交通の便の悪い旧市内以外の町の人も、月、1回位でも良いので、マイクロバス(有料でも良い)を利用して出掛けられるようにして欲しい。
老人の憩いの場として、グラウンドゴルフ場があればと思います
今まだにコロナウイルスで全国苦しい時代をすごしています。全国で一番感染者が少ない鳥取だからこそ…一番の強み!! 大都市の一極集中が今こそ見直されていると思います。すでに鳥取市は注目されています。一早くIT関連企業の誘致、移住にもっと力を入れるべき!!
また現在スポーツ施設がレーダーチャートでも（比較対象都市でも1位!!）と強みを生かしもっと高度な（オリンピック選手が自主トレしてくれるように）施設造りをしてはどうか（日本に数えるくらいしかないとか、日本一とか）
子育て世代が安心して遊べる施設があればいいな…と思います。室内運動場（バトミントン・ボルタリング・ホールなど…??）があったり、軽食が出来たりすれば、県外へ出かけようとせずとも県内で楽しめる!というご家族が増えると思います。2世代・3世代でゆっくりすごせられる場所があればうれしいと思います。
小さい子供から、高齢者まで色々な人があつまり、スポーツや楽しい会話が出来るところがあったらいいなあ。トランポリンはまるいのではなく長いのはしったりできるし、つなわたりや、大きなつみきなどあります。
食事は何カロリーがかいてあると、えらびやすい。
鳥取を知らない人がたくさんいる。
④憩いの場・コミュニティ機能
子どもたちが室内で遊ぶことのできる施設が、少ないと感じるので、検討して頂けると嬉しいです！
いつも市民のために、いろいろとありがとうございます！！
ステキな施設ができることを楽しみにしています。
新しい市庁舎は美しく、老若男女すべてが、生まれ変わった気持ちで駅南周辺へ足を運ばせています。小都市と言われてもすばらしい鳥取駅と高架の線路を汽車が新庁舎の三階位の所を通る時間帯は、どこにもひけを取らない風景です。旧庁舎の跡地は低い建物で（車社会の鳥取県なので）パーキングを含み、緑のある公園と、誰でも気軽に立寄れる交流の総合的施設になったら高齢化社会に希望が持てそうに思います。
問2-1 スーパーの意見について
「この地区は（久松区）特にスーパー等の店がなく、日常の買物が不便と思っています。」
子供は宝と言います。子供の声が聞こえる場所にはエネルギーが集まり、そこから各所にそのエネルギーが花の種のように飛んでいきます。
子供が遊べる所（ボルタリングなど）子育て中のお母さんたちが家にひきこもらないで、行ける場所にしていきたいと思います。
ただただアンケートを取りましたの形でなく、目的を明確にした場所である事を希望します。
公園や広場など外で遊ぶ環境は整っていると思うのですが、雨や雪が降った時、遊ぶことができるような公共の屋内施設があればもっと良いのにと考えています（小さな子供から小学生などが）。
鳥取市には、児童館のような、天気に関係なく子供たちが体を動かしてのびのび遊べる所が少ない。
毎週休みの日には、どこに行こうか、行くところがないなあと困る（特に天気の悪い冬）
屋内で体を動かせる、子育て世帯にいい施設を作ってほしい。
高齢者も若者も話し合える場所がほしい。
個人的には3人の子育てをしているので、小さな子から大きい子まで楽しく遊べるような屋内施設を作ってほしいです。

鳥取市内全域から月1回集まり、子育てに役立つあそびの勉強会をしているボランティアの会です。会場の確保に困っております。 市内中心地で駐車場があり、うたう、あそび、よみきかせ、遊具作り、話し合いが出来る、無料か低価格の屋内・屋外スペースを願っております。 どの年代の方も活用できる事が望ましいが、特に子供達が楽しく過ごせる場所にしてほしい。例えば、公園などボール遊び禁止など遊ぶ所が少なくかわいそうに思う。 ⑨に加えて、市外・県外から大勢の人々が訪れる、自由に出入り出来る屋内スペースを設けて憩いの場としての機能をもった広場にして欲しい。城跡を散策し一体化した場として欲しい。 いつもはさざんか会館でやっていた乳児検診が旧本庁舎であり参加していましたが、駐車スペースが広くて良かったと思います。 みんなが集まれるようなスペース活用に賛成です。 人が集い賑わいがある元気の発進拠点となるような施設。 市民が集まれるような施設が欲しいと思います。 市民会館を改築し、一部行政の支所、0～3才児のコミュニティーの場と公園広場が出来ればと思います。 中高年以上の人が若い方と接する場所などが作られればコドクにならず毎日すごせるのではないかと思います。
⑤ビジネス機能
県外の方、市外の方、若者～高齢者の方々が安心して集まれる、かっきのある所にしてほしい。（ショッピングとグルメ）利用される中で、財政負担（特に維持費）の問題が、クリアできるよう、オフィス、飲食店、特産品販売（朝市場）などの機能と多くの方が、お金をおとして、黒字の数字が見える、かっきのある場所にしてほしい。鳥取市のアーバン・プレステージとして、早朝～夜にかけて人が集まる所。 商業機能が低いと言う結果が出ているので、旧本庁舎の活用にあたって鳥取駅～県庁にかけての通りの活性化を希望する。 シャッター商店街が多く通日も活気が無く、人の通日も少ない。ので、旧本庁舎の活用にあたってまた、活気が出る通りにして欲しい。 人口の減少が進んでいる中、若者が行きたくなる様な、リピートしたくなる様な商業施設・飲食店を造るべきだと思う。また、活気が出ればおのずと人が集まる。せっかく良い商店街の通りが有るのもったいない。大きい視野で見て色々と考え検討して欲しい。 企業ビル、アウトレットモール専門店。若者のニーズによる専門店。 休日でかける場所がイオンくらいしかなく、楽しめる場所がもう少しあるといいなと思います。例えば、アウトレット、カフェ、ラウンドワンといった複合施設を造ることで、地域住民が県外に行ってお金をおとすより地元でお金を使ってくれるような地域を造ることが必要だと思いますし、住民のみんなも望んでいると思います。 また、鳥取市は、駐車場が少なく有料のところが多いので、無料で駐車できる場所があると、駅周辺がより便利になると思います。
私の地域には70代くらいの高齢者の方が、若者のように自分がつくったものをSNSで売りたいかたたり困っている方に手料理を販売したかたり、自分の好きを今なら表現できるかもと感じておられます。市がシェアキッチンなどをつくってくださると、低価格でやってみたいを実現でき、そこから自信をつけ、地元にお店をひらく人も増えるかなと思いました。鳥取は流行が10年遅れているとききますが、個の価値は素晴らしいので、年齢や国籍など敷居が高くない、衣・食・住に関わる小さなやってみたいを応援してほしいです。大きな財より小さな財の質を高め、収益を長期的視野で生み出していくことが大切な気がします。（鳥取は流行より、発信・表現することが大切です）
八頭町にある、隼ラボのような機能を持つ施設が欲しい。 若者がプライベートやビジネスで自由に交流でき、新しいアイデアが生まれて形になっていくような場になれば、街の活性化につながると思う。また、子どもも自由に動き回れるようなカフェも欲しい。 駅や空港から距離があり、観光の場所としては不向きなのではないかと思われる。むしろ、コロナ禍でリモートワークが注目されている事から、都心からの企業を誘致できる場所として整備し、市民の雇用を生み出せるのではないか。 インターネット環境が整った施設で、企業や市民が利用できるスペースも良いのではないだろうか。

久松山下の雰囲気が好きなので景観を壊したくはないが、落ち着いた見ためで商業的な活性化をはかる建物やスペースがあってもいいんじゃないかと思う。くる梨のコースなので老若男女が利用しやすい立地。若桜街道がにぎわう姿を見てみたいです。
アンケートに関係なく、メインロードですので学生、病院通いの方、公務員の方気楽に入れる食べ物屋さん、雑貨屋さん等はいかがでしょうか？（ちょっと苦言です本庁が遠くに移った事）でも100円バスが沢山ありその点は感謝です。
子育て支援等々です。
鳥取県にまだ出店していない商業施設（飲食店等）ができればいいと思います。
ファミリーや若者向けのショップが少なく思うのでイオンのような建物があればいいと思います。
⑥観光・コンベンション機能
観光拠点としての活用を期待します
防災、減災機能付コンベンション機能、コミュニティ機能のある物
鳥取の城下町を再現し、その時代を体験できる施設があれば鳥取の魅力をアピールできると思います。
鳥取市歴史文化展示場
鳥取市内には観光施設が少ないので星取県を生かした施設、駐車場のある物産館など県内はもとより、県外からのお客様にも利用できる様にしてほしい。また市内には映画館も1つしかない為、米子や岡山迄出掛ける人も多い。子供達が遊べる施設も欲しい気がします。
私達が小さい頃には、久松公園に動物園があり、大丸の屋上で遊び久松山にもロープウェイがあり、今となれば良い思い出です。
魅力ある鳥取市に期待致します。
バランスでハードを作るよりも特化したハードを作った方が良いように思います。
谷口ジロー記念館。
鳥取の「まちなか」をいかに活性化するかが長年にわたり検討されていますが、何故発想が「夢よう一度」のような昭和の時代の呪縛にとらわれているのでしょうか。「まちなか」に人々が集まらなくなった事を、いつまでも郊外にできたイオンのせいにしてはいけないと思います。イオンとは共存共栄の関係を保ちながら、特に本庁舎跡の活用は観光面に力を注ぎ、市民以外の人々を呼び込んで市民以外からお金をおとしてもらいながら、砂丘で終わっている観光客を是非とも「まちなか」に呼び込んでそして経済の活性化をはかるべきです。観光施設が一番必要です。
海に面した鳥取なので、水族館が鳥取にほしい。
⑦娯楽・レジャー機能
鳥取市内の映画館は小さい。米子はシアター数も多いので、鳥取市内にもシアター数の多い映画館が欲しい。駅も、人をひきつける様なものがない。
札幌駅の様に、最上階は映画館で、その下の階はファッションや飲食店のあるフロアを作るとか、それ位のことをしないと若い人も県外に出るばかりだと思う。
鳥取北イオンも正直あきてきてるので、ひきつけ力のあるチェーン店などが入っている複合施設的なのは今後のためにもあっても良いかと。個人としては、びっくりドンキーかサイゼリアはあっても良いと思う。
人口減少は若者の流出を止めなければ、今後も続く想定されるならば、鳥取市内にもっと娯楽や、レジャー施設が必要だと思います。
県外に出なければ休日を楽しめない若者は思っている人が多く、そこが若者の流出に続いていると思う。
「鳥取には自然がいっぱい」それはステキな事です、日常の生活の質を上げる事が必要だと思います。
映画館、商業施設を作って下さい。
理由はどうあれ、過去に住民投票の結果が活かされなかった事案があり、このアンケートも、どれほど活用されるのか甚だ疑問である。
今や新庁舎となった市立病院跡地は、イオンが増床して映画館が入ると新聞発表までされた。そのリベンジで、映画館を出店させてほしい。
温室植物園（公園も有）

鳥取には動物園がないので、小さいものでいいので動物園が欲しい。いやしの空間になると思う。
市民が集まる総合レジャーセンター 星取県プラネタリウム+大型映画館+飲食店街
映画館、プラネタリウム、美術館などを建設し地元の建築材は積極的に使用、工芸デザイン等も地元のものを採用し、観光客へアピールしたら良いと思う。 上記施設がないと他地域、県外に行くしかない。地域住民は利用頻度が増えると思う。
若者や学生などが活用できる娯楽を活した施設が鳥取中心・駅周辺に少ないと感じます。天候が悪いとくつろぐスペースを作り、人の定住したスペースを期待します。 ユニバーサルモデルなど活用して頂きたいです。
鳥取はなんかつまらなくて県外に出る。県外には鳥取にないものがあるから。 個人的にはラウンドワンのような若者が楽しめる施設がほしい。 近くに観光地があれば行ってみようという気になる。 魅力的な場所はたくさんあるはずなのに、あまり知られていないと感じる。 若者のSNSの発信力、影響力はとても大きい。 せっかく近くに歴史・文化ゾーンがあるので、上手に発信し知名度を上げられるようにできたらよいと思う。
鳥取市に大きな映画館がないのはおかしい！ 駅前の活性化、若者、県内者が遊びに行ける場所が必要。 また、県外から来られても行く所、砂丘のついでに寄る所がない！
鳥取の映画館は老朽化しています。また駐車場がない為気軽に行けません。見たい映画もほとんどしてくれない為日吉津に行っています。ぜひ鳥取市に新しい駐車場のある映画館を作って欲しいです。
鳥取市には映画館がひとつしかなく、しかも利便性の悪い場所にあるので、MOVIX日吉津のようなシネマコンプレックスをぜひとも造っていただきたい。観たくても観られない映画が多すぎるので、残念。
コロナウイルスの影響で健康への需要が高まっている中で温泉や岩盤浴施設が増えてほしいと思います。温泉、岩盤浴の施設は市内にあるのですがそのような施設は少ないので人が集まりやすく、行きたくでも行けないという状況です。温泉などの施設のみではなく“地産地消”ということにも着目してレストランや食堂をかねそなえたりするのでもいいのではないかと考えます。若者のみならず体をいやす場というのは高齢者にとっても求められていると思います。場所も100円バスなどで行きやすい立地ですし、よいのではないのでしょうか？ぜひご検討をよろしくお願い致します。
娯楽施設が鳥取市は少ないと思う。是非映画館が欲しい。星取県にちなみプラネタリウムも魅力的。佐治は少し遠いと思う。
今の若い人は遊ぶ所がなくて困っています。特に高校生は「行く所がない」との声をよく聞きます。これでは県外に出てしまいます。もっと魅力のある市にしたいです。交通の便も悪く、どこに行くのも親が送迎しないといけません！鳥取駅周辺が活性化してくれることを願います！！
子どもから大人まで楽しめるような施設があれば良いと思う。若い人とお年寄りが交流できるリモートなどを使った交流会できる場所があれば良いと思う。eスポーツが出来る場所。飲食店がテイクアウトをするのに総合受付みたいな場所をつくる。
絶対に映画館は必要です。
とても個人的な意見で申し訳ないですが、水族館を建ててほしいです。映画館も改築してほしいです、広くきれいに。
⑧芸術・文化機能
老朽化している市民会館も一緒に建てかえて利用しやすいホールを作ってほしい。
歴史博物館の様な市民も観光客も楽しめる施設を希望する
プロを目指せる様な音響設備が整ったホールを建設してほしい。
鳥取はパチンコは沢山あるが、ボーリング場やスケート場が無いので建設してほしい
映画館も検討してほしい。
旧本庁舎跡地には立地等を考えると美術館を切望します

コンパクトな音楽ホールを希望します。使える所が少なく、使用の取り合いになっている状況が、少しでも緩和されるのではないかと思います。 それがひいては、若者の流出抑制、定住促進にもつながることと思いますし、高齢者の方が出かける場所があり、いつまでも元気良く、安心して暮らせる街づくりにもつながっていくのではないかと思います。 私自身、音楽をしています。演奏会に来られたお客様から、「コロナ疲れが、生の演奏を聴いて癒された」と言われるからです。 ご検討よろしくお願い致します。
鳥取が好きになるような、鳥取の歴史、鳥取城など（子供にも分かりやすいアニメで紹介）を展開する。
1.各種文化団体の公演、展示場所として「小ホール」等が望ましい。 2.個人的には「緑地公園」が欲しい。（倉吉：打吹：米子：湊山。東京：日比谷。シンガポール：マーライオン。） 3.近視眼的思考でなく、大所高所から見た将来像を画いてほしい。
旧本庁舎の跡地周辺は文化圏ですから市立美術館・音楽・芸術を生かした建物を提案します。ピルの下にコンビニかスーパー等があれば近隣の高齢者も買い物難民が少なくなりますね。
久松山・鳥取城跡等静かな落ち着いた場所なので、ぜひ美術館・博物館がいいと思ったのですが。
音楽の発展
博物館の移転（広い駐車場が必要）
芸術・文化の街づくりで市の活性化をはかってほしい。
新鳥取市民会館の建設と駐車場の整備を図る。
音響のいい音楽ホールを作って欲しいです。
◎市民会館、文化センター、福祉会館。いずれも老朽化しているので、文化芸術施設の新設を希望する。
◎芸術作品の展示室及び舞台の会館を新設して周辺の活性化を図ってもらいたい。
市民会館、文化センターの老朽化を考えると、100～200人ぐらいの音楽ホールがあれば画期的だと思う。音楽文化にも力を入れてほしいと願います。
福祉文化会館、文化センター、市民会館の文化施設の老朽化が進んでいるので文化芸術を統合した施設を望みます。（交流スペース、フリースペースも必要）
市民会館、福祉文化会館を同一エリアに集約する。
※本庁舎跡地に市民会館を、西町の福祉文化会館を第2庁舎跡地に集約する。市民会館跡地は市営駐車場に整備する。
⑨オープンスペース機能
箱物にお金をかけるべきではない。
市民会館が今後残るのであれば、一体的に使えるオープンスペースや、駐車スペースなど、維持費がかからない施設とした方がよい。
本市はすぐ近くに自然はありますが、街なかの緑地は県外の都市に比べて少ないと感じています。街なかで市民が緑に触れる場所があってもいいと思います。
梨花ホール及び鳥取赤十字病院の一連の建物として違和感がないデザインを望みます。屋外イベントができるような広場があったらよいと思います。鳥取駅の風紋広場と対象的存在になればと思います。
市のイベントに対するスペースに
維持費のかかる箱物は必要ないと思う。
広場にしておけばキッチンカーや屋台などでイベントもできるし、災害時の避難所として活用できる地下に埋め込みトイレやテントなどが設置できる最低限の設備のみ設置する。
くれぐれも大丸前の開閉式屋根などの設置に税金を使わないようお願いしたいものだ。
空地にして、費用もあまりかからない、環境作りをしてほしい。
グリーンゾーンにしてもらいたい。駐車場などはいらない。

旧庁舎を取り壊すにも多大な金額がかかると思うのでこれ以上市民に負担がかからないように出来るものに活用してもらおうことが大事だと思う。公園緑地のような皆が集えて楽しめるような場所に駐車場を併設した場所がいいと思う。
プチ花回ろうみたいな感じにした公園だと、多くの人が利用するかもしれません。SNS発信率も増えるかなと。（夜はイルミネーション） 旧本庁舎跡地周辺は車の混みぐあい結構あるイメージなので施設を建てての集客はあまりよくないのかな？と思いました。
子ども達が、いろいろな自然とふれあえたり、体験できるスペースや、高齢者がゆっくりとすごせるような水辺のある公園があると思います。 基本的に無料で使えるようにお願いします。
避難施設完備でイベントが開催できる街中の緑地公園。数台のキッチンカー（週代わりで入れ替え）が公園内に入ることができ、子供は走り回って遊び、お年寄り散歩、働く人達は気軽にランチに行ける。年齢生活形態を問わず、あの避難場所は「楽しい美味しい自然公園」と思える場所。子供の発送、想像力を削ぐので遊具はいらない。日除け、雨除けの屋根付きベンチは必要。インディーズバンド、ダンス、演劇、コスプレ、ヒーローショー、肉祭り、朝市など小規模でもフェスができるといい。ボランティアを募って清掃活動をすればキレイに保てる。集まりが悪ければポイント付きにしコンプリートすれば商店街で使える商品券と交換すれば商店街も活気つくのではないと思う。雪が積もれば雪だるま、かまくら、雪像を作る。市民参加形のフェスにしまえば清掃も除雪も一石二鳥。避難所の設備がどういうものか社会科見学にすれば意味のある避難公園になる。
誰でも利用できる「芝生広場」を設置する。 市街地には広場がない。
緑地を作り、子どもたちが楽しく遊べる場 （例えば みんなが驚くような規模のアスレチックなど） これまで、鳥取では作っているが 小さな規模の物ばかりですぐ飽きてしまう物が多いように思う ↓ カニっ子館など小さくて一回行けばもういいなと思っている
スケボーのランプ、若者が低コストで出来るライブ フリマ、シューティングゲーム等、若者が自分達で企画し参加できるようなスペースを提供して欲しいと思う。（資金がなくてもできる場、集客が多くなってもできる場等）
フリースペース、箱ものはつくらない。せいぜい屋根がある程度にして、イベント・出店・キッチンカーが集まる場所提供。 普段は芝生エリアとして憩い場。
跡地近くには、大型施設や病院もありますが、大きな行事等があった場合、駐車場が満車になり困ることが有ります。その様な時の臨時駐車場に活用したり、フリーマーケット等の色々な行事に利用出来る広場があればいいのではと思います。
花を主体とした、緑地のある、人が集まり、憩える広場として朝市、フリーマーケット、骨董市などを定期的開催する。尚、鳥取出身の漫画家の作品を一堂に見ることの出来る小ホールなどがあれば良いと思う。
人、物、こと、できればお金、それらが交流するきっかけの場として緑地公園のような広場があればよいのではないのでしょうか。久松公園やおうちだに公園等もありますが、手入れの行き届いた公園はいくつあってもよいものです。普段は市民の憩いの場となり、目的に応じてマーケットや野外コンサート、いざとなれば避難所や集団検査等を行う場所として活用できるのでは、と思います。規模が違うのですが、イメージとしては、ソウル市庁前のソウル広場です。
箱物ではなく、緑地などを造り、色々な人が顔を会わせることの出来る場所を作る。まちの中のアサシ的なものが欲しい。 市民会館の駐車場の整備も考えられる。税金などのお金をかけないで、アイディアで跡地利用を考えてほしいものです。

特に希望するもの「バラ園」 バラの名所は鳥取には花回廊がありますが、東部にはありません。久松山は桜の名所ですが桜以外で人々をひきつける植物はありません。以前神戸に住んでいた頃、近くにバラで有名な須磨離宮公園があるためか、バラを育てている家が多く、町中でバラが咲いているのを目にしました。鳥取のHCのガーデニングコーナーがにぎわっていることから解るように、花は人々の心をひきつけます。バラは世界中の人々に愛されているため、長い歴史、興味深いストーリーもあります。特に「ピース」という品種には世界平和の願いがこめられています。ただ、バラを見るだけでなく、各国の歴史、ガーデニング文化に興味をもつきっかけになり、歴史文化を重視するエリアコンセプトにも合致するのではないのでしょうか。また、桜と違ってバラは見頃が春と秋、品種によっては冬以外花をつけています。周辺商店街のにぎわいのきっかけにもなるのではないのでしょうか。ぜひご検討をお願いします。 前あったチャレンジショップができるようなスペース、フリーマーケットやオフィス、飲食店など収益や生産性、人が集まれる所にしてほしい。 第2庁舎を建築物に(多目的に使用できる、又は住宅) 本庁舎は建築物なく、フリースペースと駐車場 公園、緑地、広場を中心とした憩いの場。会議等ができるコミュニティ機能をもった施設が適当と思う。 鳥取が親しみやすく好きになれる歴史や興味あふれる事をブース毎に提示し、こどもから高齢者迄ゆったりと楽しめるスペースがあれば嬉しいと思います。
⑩生活基盤充実機能
観光など他の地域から来る人向けではなく、今住んでいる人の日々の生活に役立つための居住などを考えて下さい。スポーツ施設、美術館、映画館などは不要
旧本庁舎等の跡地周辺に『スーパー』とよべるものがないので、民間の力を使って、誘致するべきだと思う。
高齢者増加中。旧市役所周辺にはスーパー的な店が少なく、近隣の高齢者はタクシーで買物をしている。毎日の食事の買物に困っている。
・子育て支援、子育て世代への情報発信やイベント案内などの拠点。 ・気軽に様々な相談（特に高齢者福祉や子育て）できる場所。 ・安心、安全に市民が利用できる。
周辺に買い物ができるところがない。スーパーを建てて下さい!! 市民ホールや展示スペースはもう十分ある。市民の日々の生活を大切に考えて欲しい。老人の趣味の為の建物はたくさんあるのもういらないでしょう。特定の人しか利用しない建物（美術館 文化ホール等）はもうやめて欲しい。
居住推進ゾーンなので若者が住みたくなるような場所になると良い。 5～10年先なども活用される整備を考えてほしい。
図書館や美術館、多目的ホールなどは既存のもので充分だと思います。 公園や広場があれば景観がよくなると思いますが、維持管理費ばかりかかって収益がないので良くないと思います。保育所や高齢者住宅は、これらも必要な施設だと思うので、利用者が必ずある施設にした方が良いと思います。特に高齢者は車を持たずにバスで移動したり、歩いて商店街に買い物にでたりできるので（中心部なので）高齢者住宅が良いと思います。
高齢者社会になり、車の運転が出来なくなると生活面で不自由になるため、行動出来やすい所に、住宅があれば、生活しやすくなるのではと思います。
鳥取の町を活性化させるために若者の力が重要で考えて行動できる機会を作れば、若者も鳥取の事を考えるようになり、活性化につながっていくのではと思います。中、高、大学生、社会人、の意見を聞き、取り入れて行動に、つなげていけば鳥取も変化していくのではないかと少し感じました。
近くの住宅地に増加している高齢者が気軽に買い物ができる総合スーパーマーケットが必要である。
もっとお店を増やしてほしい。（アウトレット等）要希望

他都市の事例をよく研究してほしい。 IJターン者へ宅地として売っても良いと思う。 （民間に任せるべき） （病院、学校も近いので） （あの辺りは売地が出ないのでほしい人はいると思います）
中高学生のための寮など通学しやすい施設
⑪交通機能
駅から距離があり、若い人はわざわざ行かないと思うので、若者向けの施設をつくる場合はアクセスを良くすると良いと思います。 鳥取駅～お城跡地まで、コンセプトを持っておもむきのある街並みにしてほしい。 もっと車をとめやすい安い駐車場を市内に作ってほしい。 市内のお店や、食べ物やさんに行きたくても駐車が気になって結局駐車しやすい市外に行ってしまう。駐車場は大問題です。 市民会館は、本来大きな道に面した方が便利かと思います。今は奥の方に建っており駐車場も少ないと感じます。市役所跡地は駐車場として使用し、市民会館を新しく建て直す時にこそ、（何年後かな？）市役所跡地に会館を新築した方が利便性が高まり、多くの人の為だと思います。本来は政治を司る方々が先の先の将来を見据えて市役所や市民会館の耐震工事をする前に計画すべき事だと思います。 駐車場にして、防災時には、避難場所にできる（する）と言った考えはできませんか？建物がなくても、テントをはったりするのに必要だと思います。使い方を限定しない、広場みたいなもの。 活性化の為に無料駐車場は必要 高齢者にとって利用しやすい駐車場を望みます。 旧本庁舎やアーケード周辺の施設や、店を利用するとき駐車場が見つからなくて困ることがあります。車がとめれない、乗りつけることが出来ない場所は、利用することを控えようと思ってしまいます。駐車場にしてもらい誰もが利用できるようにして頂けると嬉しいです。よろしくお願いします。 どの施設利用でも車が多くとめれるスペースがほしいです。 鳥取駅から県庁までの人や物、また交通の流れのある拠点になってほしいと思う。ターミナルはいらない。 商店街のお店には、もっと頻繁に利用したいと思う店も多いのですが、ネックとなっているのは無料駐車場がないことです。ちょっとあの店に行ってみたい、立ち寄りたいたい…くらいの気軽な気持ちで行けず、ステキなお店もあるのにもったいないなと感じています。例えばイオン駅南店のように、2時間ほどでも無料で使えるとありがたいのですが…。 せっかく商店街の活性化に向けてがんばっている方もいる中、駐車場がネックになるのがもどかしい気持ちです。子供と一緒にフラリと散歩できる場所になるといいなと思います。 第二庁舎の方は、建物も比較的新しいので、そのまま活用して、旧本庁舎跡地は駐車場にしたらいと思う。 市民が安全、安心して生活が出来、心にゆとりの持てる施設、又県外からの車にての観光客の受け入れ可能施設(例)地下駐車場、地上プロムナード併設の緑地公園並びに避難施設併設。 駐車場 鳥取駅周辺に活気がない。魅力的な場所がない。 行きたい所があったとしても無料の駐車場はなく、結局中心部から離れた駐車場付きの場所をえらびがちになる。 東映シネマの映画館はレトロでいいかもしれないけどスクリーン数少なすぎる。 駐車場が欲しい。 ・広い駐車場にしてほしい ・商店街で買い物ができるように、時間/100円くらい ・ユニクロ、無印、しまむら商店街にあるといい、若桜街道に店を出してほしい。 鳥取の人は車が置ける場所でないで行こうとしますので、たてものだけたてても、車おける場所がなかったら行きませんので、それを配りよしていただいて何事も考えてもらえればと思います。

市民会館を利用すると駐車場不足をいつも感じます。ただ、駐車場だけというのはもったいないので、やはり人が集える場所であってほしいと思います。
無料とまではいわないが駐車場にして欲しい。商店街に行くのも駐車しにくい場所（不便）ばかり。付近で催しがあると県立図書館や日赤病院の駐車場が満車となり利用者に迷惑をかけている。
駐車場の活用を希望します。
旧本庁の跡地 月ぎめで貸出し、今の駐車場は一般に低料金で出入り出来るように。
市内に駐車場が少ない
歴史・文化ゾーンに限りませんが駐車場が比較的になく不便に感じるが多々あります。建設費、投資額が大きくなればなる程賛同する市民は減少すると考えられます。低コストで利用しやすい施設、環境になれば嬉しいです。
無料駐車場にする。
子育て中なので子供を連れて行きやすいような場所になるとありがたいです。周りに商店街や公園があり、よく連れていきますが、駐車場がないのがネックなので車が停めやすいといいかなと思います。図書館や文化ホール、県民文化会館も近くにあるので一緒に活用できるようなスペースになると嬉しいです。
近くに久松山、本陣山があり自然豊かな鳥取市私は大好きです。 市民が気軽にゆったり楽しくつどえる、そんな有効活用お願い致します。駐車場確保も大事だと思います。 昔の賑わっていた頃の若桜街道が復活して欲しいですネ!!
現在、駐車場としての利用は一定台数あると思う。 どういう利用になったとしても、気軽に(安価で)利用できる駐車場機能は残して欲しい。
歴史的な場所も近く 駐車スペースもあれば良いと思う (他県ナンバー ワンコインで駐車出来る)
鳥取は車社会ですが、高齢者や学生が安心安全に利用できる施設にしてもらいたい。いくらい施設であっても 車が運転できなければ利用しにくい施設であれば意味がありません。
県民文化会館で大規模なイベントがある時、駐車場が足りないため困ることがあります。城下町鳥取の中心に位置しており、車を駐めて、ここを起点にして、周辺地域の散策ができるよう、駐車場として活用するのがよいと思います。一角には「道の駅」的な施設を設けてはどうでしょうか。
市民会館利用時の際、駐車スペースが少なく、県民会館駐車場もその施設利用者が多く利用し、本来会館利用者が困ることが多い。 市民が安い料金で利用できる駐車場があると良いと思います。
市内に駐車スペースがない。
本通りの活性化あまりにの郊外ばかりで老人たちの交通便もあまりないので出かけることが出来ないのでもよくお願い致します。
駐車場 カフェ
駐車場にしてほしい。 無料が難しければ5時間 200～300円
どのように活用していくかはお任せしますが、車がとめやすい環境を希望します。
車で移動が多いので、駐車場(出きれば無料で利用できる時間制)とかイベントが出来る広場(公園)があると、駅周辺→県庁周辺まで、行きやすくなると思います。
自家用車利用が多いので駐車場は欲しいです。
観光客の為の施設なら、砂丘周辺などにまとめた方が良いでしょう。鳥取市の保育園、小学校の合同文化祭などで県民文化会館を利用した時、駐車場がなく困りました。園や学校で参加する行事で、離れたコインパーキングを利用する気にはなれず、県庁もどこに車を置いて良いのかわからず、無料で車が置ける所があればと思いました。無料の駐車場ができ、若桜街道活性化の一步になればと思います。年頃の娘は都会にあるようなお店を。年配の母はバスで行ってゆっくりお茶が飲めるような所を。と意見がバラバラですが、観光客や周辺住民だけの利用にならないよう、市民全員が使える事をお願いします。

駐車場が少ないので多めにしてほしい
交通系の整備は必須だと思います。
利用するには不便さ(駅から遠いほど)もあるので、交通機能をととのえて行きやすい環境づくりに努めてほしい。
・地域の活性化図る為鳥取市民会館の一層のイベント開催における駐車場の整備が必要。
・イベントの多様化を図っていく為施設の充実。
公共交通網が減少し、高齢者も自家用車の使用が必要となっている。市での駐車場の確保が必要。
⑫防災・減災機能
活用の仕方記入のとおり、市の財政及び利用されないものを作っても維持がかさむだけなのでやめたほうがよい 将来的に考えるなら、防災、たとえば宿泊できる施設など、緊急時にそなえる設備としたほうがよい
・子育てと医療が充実していただいたいと思う。
・空き家が多くあると思うのでそれを利用してIタン・Uターン者に利用してもらえたらいいと思う。
・様々な災害に備えてシェルターを作る。
・鳥取県の労働賃金を上げたら人口増加等につながると思う。
○鳥取市が災害にあった時に利用できるようにする。
○財政負担にならないようにする。
防災の関係につかった方がよいのでは。
どんな施設を造るにしても、防災・避難施設としての機能を少しは持たせることが必要だと思います。JR線が崩れたりした場合に、防災機能系種ゾーンの駅南と駅の北側が分断されることはないでしょうか。的はずれでしたら御容赦下さい。
防災の拠点として利用するのが良いと思います。

①鳥取市民会館など周辺施設と一体的に活用する
近隣の活性化…民間で行うべき そもそも、アンケートをしないと決められない市の姿勢に疑問、頼りないのだらと結論を先延ばしすることが理解できない。 単なる「空地」の一つとして、他の公有施設（財産）の活用と一体で検討すべき
市民会館、県文が近いので、テーマが近い分野の建物等で活用するのがよい。鳥取城跡も近いので、文化、歴史スポットとしてPRできると思う。 観光スポット、若者の立ち寄りスポットとしても役立つと思う。若い人の姿が多いと、活性化を感じられると思う。
周辺の施設と機能が被らないといいなと思います。
周辺の施設と一体化させる。 市としてどのような街にしたいのかというコンセプトがあれば周辺の既存の建物も活用しながら子供から大人まで活用しやすい街になれば良いと思います。
県と市が保有する施設が無駄なく補完しあって利用できるといいと思います。
市民会館もいっしょにして幅広い利用度のある施設がいいと思います。 駐車場が中途半端のため大型の広い駐車場が必要です。
近くに、病院、文化会館があるので、それらの施設と重複するような活用はしない。 それらの施設を利用しやすくする活用や、防災に関連するものが良い。
鳥取市民会館を含めて、複合的に活用できることを望みます。
この度アンケート調査を頂き、跡地活用に関しての取り組みを知る事が出来ました。 市報も毎月配ってもらっていますが、目を通すのも祝日のゴミの収集についてなどでもっと関心を持たなければと思いました。跡地の活用で鳥取市を飛躍・発展へすすめて下さいますようお願いします。
近隣にある病院、コンベンションセンター、学校、県庁等の機能を束ね、有効活用出来るゾーンにしたら良いと思う。財政負担を少なくするためにも、箱物は極力おさえる事が必要。
どんなものを作るにしても、市民会館に入りやすい雰囲気をつくってほしい。市役所があったから奥まった場所で暗いイメージがあったから。第二庁舎は民間に土地を売ってまかせてみてほしいと思う。
現在の市民会館の存続を含めて、一体的な跡地利用となるようご検討頂きたい。
②市の財政負担を少なくする
新しい市役所もできているので、これ以上ムダな金をつかわないでほしい。
新庁舎建築のために多額の費用を使ったのだから、旧庁舎跡地に関しては、財政負担にならないよう、極力、費用をおさえるべきだと思う。 鳥取は自家用車の所有率が高いので、車で移動する人が多い。駐車スペースを確保しなければ、人が集うような場所にはならないと思う。
問3-1にあるように②市の財政負担を極力少なくする事に大賛成です。皆が少しずつでもがまんをして、国、県、市の借金を減らしましょう。
箱物を作る（立替）必要はない。 維持費、人件費がかかり財政を苦しめる。 必要とあらば、今ある建物を使えば十分足りる。
市に財政負担のかからない様な活用を希望する。
商店街等の活性化は出来ない。 市の財政負担は増やすべきでない。 民間の活力を積極的に考えるべき。 バタバタ急いで対応すべきでない。
ハコモノ建築にならぬよう、建替後に充分に利用できるものにする。また、中心部や重点地域の方に財源をつぎこまないでほしい。総合支所でも市役所と同じサービスを受けられるようにすべき。

市の財政（現在、未来を含め）負担を考えて、住みやすい市として欲しい
市の財政が少しでも軽減でき、更に市が活性化することを第一条件として考慮願いたい。
10年で200億減の財政の中で極力必要ないものにはお金は使うべきではないと考えます。本当に跡地活用が必要かと思えます。いらない。
出来れば、つぶして売却を望む。
市の財政負担の軽減を強く思う。
財政負担が少なくなる様な活用をお願いします。
市民税が安くなる施設を建ててほしい 葬儀所や場外馬券場など
個人的には中型のホール（市民会館に代わるもの）が欲しいと常に思っておりました。しかし同封の資料を読んでも気持ちが変わりました。もし、何かしらの建物を造るならば、その利用率、稼働率を考え維持管理が可能なものでなくてはけません。ましてや多目的にすると大抵の場合中途半端で誰もが使えないという嬉しくない結果になりそうです。残念ながらそんなに広いスペースではありません、財政的に無理のない大風呂敷にならないものが望ましいと思えます。従来の”会館”と称されるものも、そこかしこに散在し、駐車スペースやバス路線が万全でないものも多いと思います。目的を絞り込んで検討頂きたいと思います
維持・管理に多額の税金が使われることのないようにしてもらいたいです。
市の維持管理を考えると活用するより転売した方がいいと思います。
無駄なお金を減らして鳥取市が活性化したら良い
市の財政負担を極力少なく未来の為になる物をお願いいたします。
跡地活用は、市の財政負担を軽減するため、公設民営や利益を期待できるものとするよう、検討を進めるべきと考える。
長期的に考えて、幅広い年代の人が有効活用できるように”英知”を結集しましょう。安易に”ハコモノ”を作るような事はさけてほしいと思います。
財政の為売却しては
市の未来の為に有効な活用を願度い！
“既存”の商店街の活性化・延命策の為に、税金投入はもうやめて欲しい！
次世代の市民の方に負担のない（経済面で）様に、再利用できる場所にしていきたいです。
新しく何かを建てるのではなく、今ある施設を活用することを考えてください。鳥取市は小さい街なのに公共施設は充分あると思う。（公民館や体育館、図書館や博物館病院など）
既存、箱物設備を含め、将来財政を考えながら維持管理費を極力少なくするべきである。
コロナの中建物を建て費用を掛けるべきではない。 今の建物が利用できるのであれば利用し、なければ駐車場等の次になににでもなる土地にしてほしい。 新庁舎を市民の意見をふみにじり、新しい庁の建物ができた。また新しい建物を建てるだろう。市民は生活に困っている。なぜ新しい費用を使いたいのだろう。 コロナがいつまで続くかわからないがなぜ今費用のかかる建物を作りたいのかわからない。まず費用を減らし、生活に困っている人を助けてほしい。
跡地があるとなぜ箱物の発想になるのか。箱物を建てるに建設費・維持費、後々の撤去費が掛かる。人口が減り収入が少なくなる中で、箱物は良くない。 本来の人間らしい生活は天候の良い日は芝の上で日向ぼっこ、家族での弁当、そんな公園があっても良いのでは（最低10m間かくで大きな木（イチョウ?）を植える）経費も少なくすむ。災害時プレハブ、コンテナをすぐに建てられる。
人口の構成から見ても、かつての開発の考えでは難しいと思われます。 具体的な案等はなかなか思いつきませんが、世代を超えた遺す計画でよいのでは。他県や過去の事例もあるのでは。 長期的に人や物の流れや定着に結びつく事であれば良い、施設を造る事を目的に、国外を当てにして目先の成果を追うと、後世の「つけ」は誰が処理する。

建物は建てても中身の活用が全く出来ていない行政だけは、税金の無駄使いになります。 ○公共施設の経営方針にある施設量の削減には賛成です。 跡地も、施設の建設等は控え、周辺施設を有効活用する施策を打出して頂きたいです。 ○自殺予防や貧困対策等など現時点で対応が不十分な事案へ対応する機能を持ったものを検討して頂きたい。ex.24 時間相談コールセンター 市の財政負担を減らし、長期的に利益を生む活用を望みます。 例えば土地の貸し出しや命名権などを行う。 売却して、少しでもお金にする。 財政負担がかかる箱物は不要です。 美術館だ図書館だ音楽ホール等、多大な費用をかけて作るべきではないと思います。すぐ近くに立派なホールがあるのになぜこのような建物を作る必要があるのでしょうか？人口減が加速しているなかで箱物は不必要です。聞くところ、NHKが移転先として検討しているとの事。私はNHKが最適ではないと思います。財政難の折、無駄な建物は止めにしたいかがでしょうか。NHKは駄目ということであれば、公園、緑地はいかがでしょう 日赤に借せばいい 問2-1について 「基本的に市が整備するのは反対 市が運営管理すればコストが発生します マイナスの資産になります 民かんにかくて賃料・使用をとればプラスの資産になります」と記載。 住民投票したにもかかわらず、新庁舎を建てて、この上お金をかけて旧本庁舎等の活用することは市民の税負担を増やすだけではないのかと思う。 税金を使用する施設の場合だと市民が利用しやすいことが大切。出来れば、オフィスや飲食店など、外部貸出しなどを増やし、税金を節約できれば良いと思います。 税金のムダづかいにならないような活用を市民の声に耳を傾けてほしい。 大きな財政負担になるような“ハコモノ”はいりません。周辺施設と一体的な活用は必要だと思います。 税金の使いすぎ 維持が出来ないと思う。 後年度負担が最少となるように・・・。 常々鳥取市はハード整備の予算が過大であると思っている。また、建物等の維持経費の軽減に努めるよう留意するよう取り組むべき。
③利用者が限定されないような活用 お金をかけるなら誰もが使用でき、あって良かったと思える跡地活用ができるといいと思う。 特に子育て関係等に役に立つのであればうれしい。 ・さまざまな建物で維持・管理が行き届かない施設を増やして欲しくないと思います。 ・市中心部の人に便宜に偏らない様に充分配慮して計画して下さい。 若者から、老人まで活用できる施設を望みます。施設間には、ベンチのある緑地もお願いします。 市民がどなたでもいつでも何らかの形で使わせていただけるといいですね。 跡地の活用方法は正直難しいですが、誰でも利用できる施設、特に、今の鳥取市に足りない施設を考えて欲しいです。 市民が足しげくかよえる場所作り。 跡地活用に多くの市民がかかわり自分達の意見が反映した達成感が必要。 日常生活をしていて旧市内に出向いたことはほとんど無く無関心が正直な気持ちです。 近くの人のみを利用するように思えてなりません。 地域みんなのためになるような楽しいしせつをつくって下さい。 障害者、高齢者等が活用しやすい様に。

施設の利用者を限定するのではなく誰でも自由に出入りできる所（屋内とか屋外でも）所を作って欲しい。買い物にでた時など1人でも休息する場所がなく困る。 だいたい若い子連れ家庭・サークルとか高齢者対象とかが使用していて、1人でほっとできる公共施設がない。 お金払ってみんなが喫茶店やお店に入れる訳ではない。税金払ってるので活用してほしい。 近くに住んでいる方々だけが「いい思い」をするのは不公平感を生みます。市民誰もが・・・というのは無理にしても、何か大きな災害にみまわれた時に活用できるようなものになるといいと思います。 小さい子どもからお年寄りまで楽しめるような施設になったら嬉しいです。 市民、県民全員が利用でき、他県の人にも注目するようなもの、将来を見据えた、価値ある物、子供若者の心のより所となるような物。 今コロナの時代ですが、だれもが活用できる様な場所になればよいと思います。 鳥取の歴史を知りながら、今まで以上に色々な方がおとずれる様な活用にしてください。 もちろんアドバイザーの方々も必要だと思います。 旧市内だけが潤い、他は部外者ではいけないと思います。砂の美術館も結局はじめは（合併してから少し）行きやすかったが、今は従業員もお話に夢中でとても行きにくい。同じようにならないようにお願いします。 市民が気軽に利用出来る施設にしてほしい（特に子供と高齢者） 鳥取市内だけのものではない。 広く だれでも、いつでも来てみて、やってきて面白いものに・・・・・・・・ 障害のある者でも気軽に出入りできる場所を作って下さい。 ○住民が気軽に利用出来る施設を望む（老若男女） ○鳥取市を発信出来る施設 特定の業種や団体・個人が潤うような活用でなく、鳥取市民・近隣の県や市町村の住民が幅広く利用・活用できるようなものを希望します。 一番考えていることは気がねなくです。何んの気がねなく利用できること。そして、「今日行って利用してほんの少し有意義な一日だった」と思えることです。 人口減少が続く中で、老若男女を問わず、市かつ県が活性化する素敵なモノが出来ることを場所的に期待します。 ・鳥取の災害、歴史を忘れない場を。映像、体験語る、誌、語の継ぐ、展示を。 ・身を守るための健康増進センター。病後回復に向け、運動方法誌、講演会。 ・駐車場は利用者は当然であるが、バスターミナルは別のもの。旧市街地にいるものも市民です。交通もすごく不便です。費用も増し、乗継ぎしなければ利用も参加も出来ません。特に免許返納の身は施設も催しも遠いものです。せめて団体で利用、グループでの参加しやすい場所であり、内容であるよう検討ください。 ・出来る限り建物の内、外、緑を。語らえる場所、座所をお願い致します。 無理な利用は維持費がかかるので、新しく建てなおすのもお金がかかりますが、市民がみんなで利用できる場所になることが第1条件だと思います。 ・農業、漁業、子どもにやさしい誰でも集まれる道の駅。 ・学校の統合地候補（小学校等） だれでも気軽に利用出来る施設にしていきたい。 施設を造られても一部の人達でなく誰でも気軽に利用出来る事。 近隣住民の人だけでなく、多くの人達が豊かな生活が出来るものと考えて頂きたいと思います。 特定の団体等でなしに、市民が幅広く利用出来る施設などが良いです。 とても良い場所なのでどの世代の方が行っても楽しめる施設になったらいいと思います。 いろんな世代の人がいつでも利用できる場所であってほしいです。 障がい者、高齢者などだれもが使いやすい施設を作ってほしい。 個人的には3人の子育てをしているので、小さな子から大きい子まで楽しく遊べるような屋内施設を作ってほしいです。
--

鳥取市内全域から月1回集まり、子育てに役立つあそびの勉強会をしているボランティアの会です。会場の確保に困っております。
市内中心地で駐車場があり、うたう、あそび、よみきかせ、遊具作り、話し合いが出来る、無料か低価格の屋内・屋外スペースを願っております。
どの年代の方も活用できる事が望ましいが、特に子供達が楽しく過ごせる場所にしてほしい。例えば、公園などボール遊び禁止など遊ぶ所が少なくかわいそうに思う。
⑨に加えて、市外・県外から大勢の人々が訪れる、自由に出入り出来る屋内スペースを設けて憩いの場としての機能をもった広場にして欲しい。城跡を散策し一体化した場として欲しい。
いつもはさざんか会館でやっていた乳児検診が旧本庁舎であり参加していましたが、駐車スペースが広くて良かったと思います。
みんなが集まれるようなスペース活用に賛成です。
人が集い賑わいがある元気の発進拠点となるような施設。
市民が集まれるような施設が欲しいと思います。
市民会館を改築し、一部行政の支所、0～3才児のコミュニティーの場と公園広場が出来ればと思います。
自分自身の事です、56才女性で車の免許なし。自転車での移動です。インターネットにもうとくて、ガラケーです。そんな私事です、これから先の事を思うと個人的ですが、中高年以上の人が若い方と接する場所などが作られればコドクにならず毎日すごせれるのではと思います。
④民間活力の積極的な活用
NHK庁舎を移転させる。
企業誘致で活性化を図る。
有料でコンビニ・スポーツジム。カルチャー・カフェ・レストランを入れる。
今後の市を担う若い人の意見をもっと取り入れて頂きたい。税金の投入が前提では無く、民間資金を先ず第一に計画して頂きたい。年数がかかっても、何度でもアンケートをしても良い。オープンな検討過程を市民に常に戻して頂きたい。
市の財政負担もかからないように民間で活用を図ってほしい。子どもが遊べる室内の娯楽施設も増やしてほしい。遊びに県外に出て鳥取にお金が落ちないから。
⑤複合的な活用
近隣の元気のある商店を集結した複合施設を創り、第2の駅前商店街として、鳥取城跡や公園と融合させた美観地区を創って、町を活性化して欲しい。
防災拠点にできずに市役所を新築移転したわけですので、防災拠点としては不適格と考えます。
会津市の「スマートシティAiCT」のような、オフィス・観光・交流施設として整備してはいかがでしょうか。今のスピード感はあまりにも遅すぎます。民間ではとても考えられないスピード感です。早急なトップの英断をお願いします。
娯楽、レジャー、芸術、文化機能を集約し、若者が集い賑わい、魅力のある”まちづくり”をして欲しい。
市民会館を市営美保球場に移転し、旧本庁舎跡地には複合的に美術館、音楽ホール等を新設。
いずれも駐車場を完備しないと設備は利用されにくいと思われます。
若者も高齢者も行けるような、複合施設を作ったらい。
ショッピング 飲食ができ、映画館やイベントホールも兼ね備えた施設を!!
新聞に出ていたNHKの移転に賛成です。これに音楽ホールやスタバなどの飲食店があれば若者が集まると思います。
色々な方面からみて（災害、コミュニティ、文化）有効活用をおねがいします。
とりぎん文化会館があるので市民会館が中途半端だと思います。鳥取には映画館が2軒だけです。複数の上映ルームを併設した映画館をメインに、ATM、行政の最低限の窓口を置いた複合施設があればと思います。小さなスーパーも必要です。

市役所旧庁舎、第二庁舎跡地の立地から、鳥取市内での文教区と商業地区の間にあるという視点から、専門学校、娯楽施設など若者や高齢者に活用してもらえるユーティリティ施設があると、便利かと思います。鳥取駅周辺以外に人が集まる拠点になることを期待します。

都会には何度見物見学してもあきない魅力を感じますが田舎にはそれがない。特に風雨雪の時の余暇を楽しむ憩いの場所がありません。芝生広場に外周は土コースを造り中央には子どもが自由に遊ぶことができ軽飲食のできる開閉ドームの建物を希望します。箱物は歓迎しません

米子の角盤町に出来た、Good Bless Garden の様な複合施設はどうでしょうか？ 出来てからの推移で、もし好調の様なら参考になるのではないかなと思います。若者もお年寄りも楽しめる場所が作り出したら人も集まり、鳥取駅北口方面も、また賑わいを取り戻せると思います。

①近隣の商店街等の活性化に貢献する利用
若桜街道商店街が活性化するような活用をしてほしい。 鳥取市の中心地店に人が集まらなければ活性化していかないのでは？ ・せめて川端～旧本庁舎方面の商店街の活性化出来る活用がいいと思う。 ・バスを利用しても県庁までのメイン通りシャッターが下りていて観光客も他の方面に行くから ・もっと話題性のある方向で人が集まる催しを考えてほしい。 若桜街道がもう一度活性する事を願う 鳥取駅に市役所が移転したことで、仕事柄とても行きやすく活用できています。駅に近い事からも車を持っていない方も利用しやすくなったと思います。ただその分、商店街のシャッターの降りるのがとてもさみしく思います。 イオン北（南隈）の方に若い人たちが、買い物する場所もあり流れていっています。 鳥取は車社会で、1人に1台は必ず必要です。市役所の跡地を上手に活用することで商店街が元気に明るくなる方法を検討していただきたいです。
②若者の流出抑制・定住促進につながる利用
将来の食糧不足を補う政策の確立への道すじを考える。 Uターンの支援策（人口流出の防止） 学生達（高校生・大学生）や年齢に関係なく、自由に出入りできて時間にとらわれずゆっくり勉強したりくつろげる物を作ってもらいたい。 鳥取は遊ぶ所がないので身体を動かしながら遊べるものやスケート場、スポッチャーみたいなものができたら若者達も喜ぶし大人も楽しめると思う。 小さい子供から大人まで楽しめるようなものができれば鳥取から出る若者も少なくなると思うし鳥取に残りたいと思う人もふえると思う。鳥取は人もやさしく住みやすい所なので快適で楽しく暮らしやすいようにするために喜んでもらえるものを作ってほしいです。 利用者が限定されるのは良くないと思うが、過疎化や若者離れが目立つのであれば、若者層をターゲットにして考えていくべきなのでは？と思ってしまう。 若者の流出抑制につながる施設を希望します。 コロナ禍で県外へ行けず、鳥取県の大山等の自然のすばらしさは感じたが、その他20～30代が魅力を感じる場所が鳥取市にはありません。子育て世代、高齢者が安心して過ごせる町作りには賛成しますし、大切なことだと思いますが、それだけでは肝心の20～30代は鳥取市から出ていくと思います。 高齢者にとっては静かな町で住みやすいかもしれないけど未来に生きる若人の声が必要。教育・福祉・経済。都会とは遅れている面があっても人気の住みやすさ。 とにかく若者の力で何をしたいか、どうしたらいいか。 市の方で発信してみたらどうでしょうか。 少しでも若い世代が増えるような施設を希望します。 若い人の県外流出を止めるには安心して働ける会社が必要だと思います。 高齢者に対しては年金が少ない人が少ない年金でも入所できる施設がもっと必要ではないかと思っています。 民間財力を引き出し若者が定住できるような施設がつくられるよう願っています 人口の流出を防ぐために、若者が行きたくなるようなオシャレな店、空間があればいいと思います。（倉吉の未来中心のような） 建物だけでなく、鳥取市街地は作りが古く、車の駐車場が少ないので駐車場は絶対に必要だと思います。また、有料にすると客数が減ると思うので、無料にした方が客が集まると思います。 若者が利用したいと思われるカルチャーセンター等 高齢者向けのものは数多いが若者向けのサークル活動を増やさないと老人の町になってしまう。 子供向け卓球教室とか体操教室とか

私の青春時代はたくさんの店が並びとても楽しい商店街でした。 今は湖山方面ばかり発展し新しい店舗がどんどんできて、本通りから若桜街道は寂しい通りです。 年齢層は関係なく、市民が集まりにぎやかな通りになる様娛樂施設・商業施設を設け若い人の雇用場を作り鳥取市を盛り上げてほしいです。「鳥取変わったな」と県外の子供達に言わせたいです。 鳥取大 鳥取キャンパス誘致 産学連携した取組の推進 若者が定着しやすい娛樂施設を併設（映画館） 鳥取市への移住者も増えつつあるので、若者や移住者がもっと増えるような方法で活用してほしいと思います。鳥取市が魅力的になるように活用してほしいです。
③高齢者が安心して住み続けることができる利用
子供やお年寄が安全・安心であるもの。 若いうちは車でどこでも行けるので問題ないが、高齢になり、運転ができなくなった時、バス移動で体が動かせたり、芸術的な物を見れたり、行政・銀行等・買い物、できる場所が集中しているといいなと思います。子育て世帯、高齢者が住みやすい町になるよう。企業があり、仕事があれば鳥取に住みたい若者も多い。
④市外、県外から人を惹きつけるような利用
市内、外から集まりやすい活用、少し狭いかも、どちらになってももう少し活気の出る活用をお願いします。 展示会などイベントをするスペースとして、パレット鳥取がありますが、駐車場はあっても止められる台数も少なく、本通り駐車場から遠く、また、展示商品など大型商品は階段からの搬入だったりと広さは適当で良いと思いますが、なにかと不便を感じます。また、駅前の物産館も同様に近くに有料駐車場はあってもわざわざ信号を渡って行くことが不便だと思います。 （パレットの2階はムダなスペースが多い気がしますし、物産館は、鳥取の良さがわかりにくいと思います） どこに行くにも車での移動が多いと思いますので、松江城近くの物産館のように、車が気楽に止められて、鳥取のいい物がそろっていて見やすく、休憩できる喫茶コーナーなどもある物産館があったらいいと思います。展示会もできるようなスペースもあれば、なおいいと思います。 しゃんしゃん祭りの時もひとつの会場として使用できたらいいと思います 駐車場は必須です。跡地が鳥取県内外の方々に居心地良く、こんないい物、いい所が鳥取にあったのかと再認識できるような施設ができることを心より願ってます 若い人のアイデアを期待しています。 ※全国ニュースで取り上げられる様なものを作って下さい！！ 税金で跡地活用して、次世代の子どもたちが活用できるもの（生産性のあるもの）が子育て王国鳥取県なので、他県から移住していきたくなるものの方が良いです。 歴史・文化ゾーンであることもふまえ、県内外から立ち寄ることができる魅力的スポットとして近隣にはないような施設を。特産物販売や出店できるスペース、カフェなどを併設した多世代が気軽に利用できる目玉的な鳥取の〇〇ができることを期待しています。
⑤歴史・文化ゾーンにふさわしい利用
歴史的、文化的な地であり、周辺のこと考え、長期に亘って残るものにしてほしい。 集客にだけに走って特異な建物を立てるのではなく、歴史文化ゾーンに合ったもので、住民を中心に市外の人にも来たいと思うゾーンにすることで結果として人が集まり、店なども増えるのではないと思う。 周辺の施設の状況、久松山の文化的な地域であることを勘案し、複合的に人が集える施設が整備されるのが良いと思う。 鳥取市以外の地域の方にも、利用される物に。 県庁所在地として、あまりゴチャゴチャしない。 文化的な拠点にしてほしい。 ・近辺にスーパーが無く、不便であると以前より思っていました。 ・反面、周囲の施設や土地利用計画など合わせて考えると文化的歴史的な要素を取り入れた他には無いような、何か特色のある施設があれば行ってみたいと思います。（駐車場は確保してほしいです）

久松山の歴史(鳥取城)との関係から、鳥取市の歴史、鳥取を結び付け、駅付近は商業区として発展させ2分化する。駅南地区パラパラ建物施設あれど特徴に欠ける。
その他
跡地活用についても何が出来ようと本心は興味がない。
「できて良かった」と皆んなが思えるような活用を考えて下さい。
県庁所在地の鳥取ながら、西の米子、境港、松江、出雲連合に商業、他全て負けている（残念）、会社、工場も多いから住人も多く、うまく人を引き付けている。
鳥取市は工場の誘致が見込めないなら（若い人等の勤め口が見込めないなら）全て県と連動し観光も有りかなと思っています。（まずはデーターで今後の設計が必要だと思います。でないとアーケードを見ていつも生き残れないと思います）
本件跡地活用については市長、議会（市民の代表）が決断すればよい。
10年後、評価される結論を望みます
いろいろ検討されている様ですが、とにかくする事が遅い。
取りこわしてから何年になるのか、市当局の猛省を指摘する。
街は少しづつ南方向へ移動する現在、人の流れもそれに沿っていくものと思われます。従って商業施設には向かないと感じます。
鳥取市が明るく元気になる様な利用を望みます。
駅から少し距離があるため、観光情報発信拠点等には不向きと考えます。
有効活用を楽しみにしております。
アンケートに従い早目の実現をお願い致します。
城跡の整備が進んでますがせっかくの駐車スペースがなくなりました。観光客の招致には逆行です。思い切って久松小学校と遷喬小学校を統合し旧本庁舎跡地をこれに当て、久松小学校の跡を観光客の駐車場並びに城に関する観光施設の建設集約地に当てるのがよいと思います。
有効利用してほしいです。
近年、医療・天災がこれからも多くなると思いますので、町村が連絡しやすい？手続きが簡素化出来る施設が有ればいいと思います。
安全で明るい町づくりに活用できるようにお願い致します。
庁舎と市民公館の廻りがごちゃごちゃしていてもっとスカット誰が見ても美しい様にして欲しい。
現建物を利用するにしても耐震に問題があるので、たとえば減築（階を減らす）というのはどうか？ 全館利用する必要はないと思うので・・・。
地域から遠くて利用出来ないと思います
アンケートが遅すぎる。
特にありませんが皆がくらしやすい町にしてほしいと思います。
介護・福祉携わる1人としては、今大事なことは、高齢者・障害者・それをサポートする施設・職員・家族・地域だと思っています。自分の両親・祖父母が今まで生活してきた地域で、仲間で安心して暮らしていけるよう私達も一生懸命働いています。今まで鳥取を守ってきて下さった方々に少しでも住みよい鳥取市になりますように。
ギャンブル施設を建設し、市の活性化
無理に何かをしなくてもよいのでは。
確実性や有効性がなければ
設問の構成が意図的なものを感じる
何をするにしても人が集まらない無駄なスペースにならない様に活用して欲しい。
市民の皆様が納得できる跡地。鳥取の発展につながるいいアイデアになるようにと願っています。
福祉センターを建て替えてほしい。
行ったこともなく、行く予定もない所なので、正直どうでも良い。

鳥取は高齢化が進み、介護施設は多く充実していると思いますが、逆に考えると、仕事がそういったものばかりになり、若者や子育て世代のやりがいや楽しみはとても少なく、働いていて辛くなります。（介護施設で勤務しています）若者や力をもった人（パフォーマンス）などが活躍でき、鳥取がもっと元気になる場所があるといいなと思います。
鳥取に来て40年位になりますが、市民会館の場所が未だにわかりません。もう少し目立つ場所に建てかえてもいいのではと思います。
今ある近隣の商店街などを活用・改善し、鳥取らしい町づくりにしてほしい。誰でも気軽に散歩して発見が出きる町にしたいです。
跡地に鳥取赤十字病院を建設し、鳥取赤十字病院がある場所と、とりぎん文化会館を一体的に文化ゾーンとすれば良かったのではないかと。
市内100円バスの様な市外でももっと広く老人でも病人でも送り迎え出来る車があればと思っています
跡地が「重要な財産」でありまちづくりに最大限活用するのであれば、コロナのダメージの中、1ヶ月でも早くその活用を実現して早く恩恵をもたらすことも重要。よって市としての構想案(複数でも可)を早く示してその検討を始めるべき。
①常に開かれ、子どもや若者、成人、高齢者までもが「ちょっと立ち寄ってみよう。」と思ってしまうような場所を提供してもらいたいです。 型苦しくなくて、毎日でも行きたくなるゆったりした空間。 その場でちょっとした体験ができれば、うきうきします。難しかったり時間がかかったりするものは取り入れないのが成功のカギ。イベント的なことは、ほかの機関や施設が充実した内容を展開しておられるので、ほとんどを、こちらにお任せするのがよいでしょう。 ちょっとした体験でも大事にされるといい気持ちです。しかし、準備万端で手取り足取りの補助を受けるのは敬遠したいです。自分で選んで主体的に動いて出来上がれば大満足します。しかも、時間をかけず簡単にできることがいいです。特に、若い人たちはスピードを重要視しますし、情報キャッチ能力や自分流に受け止める力に優れています。 ②鳥取市の事業は一つ一つすばらしい内容です。本当に驚くほどです。活性化のテーマや基本方針にあるように「つながる」「交流」が重要だと、私も思います。 事業と事業を関連付けることで輪が広がります。私も含めて今は関心の低い市民ですが、見たり感じたりしながら、自分のこととして受け止めることができるような策を講じることが重要だと思います。せっかくの素晴らしいビジョンがしっかり届かなければもったいないと感じるからです。 市だけではなく、ほかの多様な機関や施設、そこでの催しを早くにキャッチして、それも取り入れて結び付けば、広がるし深まるでしょう。市からの発信方向だけではなく、市民から何を望まれているのかという視点を大切にしてください。何と何をつなげばよいか見えてくることもあるかもしれません。 図書館や歴史館、博物館、商業、農業などの専門分野にまで深く立ち入ることは避けつつ、そういう所と関連付けて、余裕のある情報を提供する拠点として鳥取市の中心にこの跡地があればいいと思います。それは、すでに鳥取市本庁内にあると思いますが、この旧本庁舎跡地は、もっと物理的にも事務的にも市民に親しまれる近づきやすく穏やかな場であってほしいと思います。 (例)旧本庁舎跡で紹介される「おすすめコース」を参考にしながら、自分で選んで出発。 おすすめコースをいくつか紹介するコーナーを作っておく。 ③観光客も入り込めるよう、より工夫をするのがいいと思います。 旧本庁舎跡のネーミングも親しみのある、よい響きのものになれば、うれしいです。 鳥取の魅力を力いっぱい発信するだけでは、何にもならないと思います。実際に来て、見て、触って、食べて、体感して「鳥取っていいなあ。」と、気持ちよく思ってもらえるといいです。